京城日報

二十二日夕刊

京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

大典參列感記

○大隈首相の人杖

水原勸業模範場長 本田博士謹話

十日紫宸殿に於て行はせられた御即位の御儀に參列し十七日の大饗のお召には東京へ參る都合から拜辭いたした御即位當日の紫宸殿の御儀の崇嚴なる事は今更申すまでもなく其の威儀堂々其の御式の神々しく有難かりしは

▲到底筆舌のよく及ぶ所ではない私などは參列者の內では最も若い者の內であつて何れも鬢髮眞白き多數の人々が三時間餘も身じろぎ一つせずして居並らびし儀容の程は殊更に御儀の塲を神々しくした私の參列して居た處から高御座は左近の櫻右近橘の繁みの爲拜する事は能きなかつたが大隈首相の壽詞を奉つた南階と其の下の左右の萬歲旛即ち首相が萬歲を三唱した處とはよく拜する事の能きる處だつた大隈伯が八十に近かき老體なるが上に義足の蹇脚で十段以上も有ると覺しき南榮の即ち陛下の御座の御前階段を上下した時は實に私は

▲手に汗を握つて どうか恙なくあの階の上り下りが出來る樣にと心に祈つた位であつた恐らく參列者の誰でもが必ず同じ心で手に汗を握つた事と思ふ殊に衣冠束帶の靴は古風の大きな塗りの木履の事故一歩毎に其不自由さを思ひやつて氣が氣ではなかつたのである上る時はそれ程でなかつたが下る時は後退りに下るので其の心もとなさは一しほであつた最も大禮服を著した人杖が左右を援け猶當日は 陛下の御思召を以て背後に一人を附ける事を許されては居つたものゝ其の人達も後歩みの事故其の足元は氣遣はしいのであつたが然し首尾よく南階を下り更に西に廻り右の勾欄に沿ふて南階を下り斜に左右萬歲旛の前に直立すると

▲殆んど間一髮を 容れず祝砲の第一發と共に首相の大きく强き萬歲の聲が發せられ參列者一同の唱和は誠によく整ふて天地に轟き震ふばかりであつた、軈て 陛下入御あつて午後四時頃退下した 陛下が高御座に御著御在せらるゝと入御あらせらるゝは毎に御座の後方正面よりせらるゝと覺へ奉つたが其折毎に最敬禮の中であるから參列の多くは拜し奉らなかつたであらう、當日は數日以來の陰雨全く晴れ十一月中の頭と云へ春にも珍らしき程の暖かき日和で誠に 陛下御稜威の尊さ身に沁みて有難く此の曠古の大典に參列し得た光榮身に餘つて難有く感じた

○純日本式の建築美

鈴木土地調査局長謹話

私は十日賢所大前の儀同日紫宸殿御即位御式十一日賢所御神樂十七日大饗夜宴の諸式宴に參列する光榮に浴した十一日の神樂の時は夕刻であつて皇后陛下御名代允子內親王殿下の御參拜の時は既に人顏も見えぬ位に闇つた大饗當日の饗宴塲は實に

▲壯麗比ぐふもの なく巾四間の長廊下を以て連つて居るが元より一時的の假の建築だけれども廊下は小豆色金金具の合天井に色も美しき華模樣を散らしてあつた饗宴塲は四十一間四方の大建築であつて巾二間の廊下中央に十六間四方の大舞臺があり 玉座は南面して北方に位せられ無數の電燈花の如くに輝き渡る處天井廊下の金金具に相映じ眼を奪ふ許りの華やかさであつた玆で賜饌を拜戴し舞殿に於ける古雅な太平樂萬歲樂等の舞を拜觀した御即位式に參列した外國使臣の內には日本天皇陛下の御即位の式が極めて

▲嚴肅に淸らけく 神々しく行はせられた事に就ては一種言ふべからざる森嚴の感に打たれたけれども壯麗とか綺爛とか云ふ方面から見て誠に物足らぬ感じがすると申して居た人達も少くなかつた樣であつたが此の夜宴に列して全く御即位式の御淸簡な古式と打つて變つて華麗に目を奪はれ口を極めて純日本式の建築美を歎美して居つたのも無理ならぬ事である斯の如き華麗な廣大な宴席は恐らく歐米諸國にも多く其比を見るに難からうと思ふのである

○神々しい暗黑の裡

芳賀總督府醫院長謹話

御大典に參列し得て感じた事は數限りの無い事ではあるが我々の如き總に嫻れない者は注意が行屆き兼ねて見れども見えず聞けども聞こえぬの遺憾である森林太郎博士が大阪の新聞に私記を書いてゐるが見やうと思つて見、聞かうと思つて聞き而して書かうと思つて書いたのだらうが彼れなどを見ても我々の眼にも耳にも及ばぬ事が澤山ある全くよく見聞してあると思ふ大嘗祭の一夜、其れは全く古今に絕した神々しさであつた唯神々しいと云ふより外に言ひやうは無い森博士の私記に據ると何でも灯は二つとか三つとか殘されてあつたと云ふ事だけど私はよく記憶しない唯兎に角流石の大式塲內總ての灯を消してしまつて正面中央の悠紀殿に近い處にのみ二三仄かに點された灯が如何にも神代を彷彿させ參列の我々をして心から身の引締るを覺えさせるのみであつた暗黑は神秘である其神々しい暗黑の裡で執り行はれた大典は直に太古に遡つて萬世搖ぎなき御代の萬歲を感ぜしめる次第である

◎統府會議硬軟二派に分る

双方相對峙して降らず 連日總統府の帝政問題

北京より或筋に達したる情報に據れば連日總統府の帝政問題に關する會議には硬軟二派に分れ硬派は主として軍人側にして此際急に帝政の實行を外國の勸告の爲めに延期するの不可なることを極論し軟派は今帝政を實行するも列國の承認を得ざれば延期して期を待つに若かずと論じ双方相對峙して降らざる勢なれば袁總統は採決に迷ひ居り之れが爲め上海鄭汝成氏の喪に代理として派遣せし陰昌を急に召還せらるゝこととなりたるが昌は軍人派の首領にして强硬論者なれば此際同人の力を藉ること多きが爲也(東京特電)

歐洲大戰亂

▲「二者其一を擇べ」

聯合國に加擔するや否やと迫る

聯合國に加擔するか若くば動員を解除するか二者其一を擇ばんことを迫れり 聯合國は希臘に對し聯合國に加擔せずして動員を行ふは最も不滿足なりと述べたり、目下の處希臘の態度は不明なるが伊太利及佛國にて悲觀說を持するに反し倫敦にては樂觀し居れりと(倫敦電報)

▲巴爾幹の佛軍形勢良好

雅典來電に據れば勃牙利がプリレップを占領せりといふ報道頻々として至る佛軍の形勢は極めて良好なり若し機を失せずして增員を得ば思ふに全般の形勢を一變するを得んか(倫敦電報)

▲塞軍退路を斷たる

勃牙利軍はクルセヴオより突進し塞軍のアルバニヤに向ふ退路を斷ちたり(倫敦電報)

▲希臘の佛國抑留船出港命令

希臘政府は佛國政府が同國港灣に碇泊中の希臘船舶に對し一時的抑留命令を發したるに關はらず牽行して出港をなすべしとの命令を發したりとの說あり(紐育電報)

雜報

◎特赦發表期

明春早々か

今回の特赦は一般減刑を受けたるもの其恩典に浴せざりしもの及び刑の執行を了りたるものに對しても特別の事情ある者は此恩典を蒙る可きを以て其範圍の廣汎なるのみならず極めて複雜なれば之れが調査は愼重の上にも愼重を要すること言を俟たず從つて鮮內各地の監獄並に法院よりの申告到達するには尙ほ多數の日子を要す可し、而して總督府にては司法部に於て審議を重ね總督の決裁を經て內閣に廻附御裁可を仰ぐ次第なれば本年內には發表の運に至らざる可く早くとも明春ならむと

◎軍器供給講究

兵器の供給は目下各交戰國に於て兵員の不足と共に各國當局の等しく苦慮し居れる所なるが各國の戰時に於ける一日の小銃製造力は獨逸モーゼル約四千挺、佛國ベール二千五百挺英國リーエンスエールとモーゼル一千五百挺、墺國のマリエンチエール伊太利のパラビシカルカ、露のモツシン等何れも英國と略ぼ同樣の製造能力を示し大砲彈丸附屬品の如きも夫々小銃の製造能力に比例し居れり而して本邦に於ける兵器製造能力如何と見るに露國に及ばざるは勿論なるを以て一朝有事の日に當り俄然供給不足を告ぐるに至るべきは明白なり且つ技術製造能力等に至りては是を補塡するの途あれども是等の原料に至りては平時に於てすら枝光製鐵所兩製鐵所の供給額は僅かに內地需要の三分の一を滿たすに過ぎざる狀況なれば砲兵工廠の擴張と共に原料供給の途を講ずるは當面の急務なりと云ふ是に就ては目下當局者に於て研究中なりと(大阪)

◎辭令

今回左の通辭令ありたり

命復職平安南道在勤 休職忠淸南道第一部長 吉松憲郎

◎仁川引込線成績

仁川稅關構內引込線十月中の利用成績を聞くに發送貨物四萬零四百十三個三千五百六十二噸三十到著貨物一萬二千五百六十九個一千四百九十九噸八十九計五萬二千九百八十二個五千零六十二噸十九なり而して一月以降の累計は發送貨物二十七萬六千八百十三個二萬六千〇〇九噸五十六到著貨物十五萬一千八百八十二個一萬五千五百十一噸九十三計四十二萬八千六百九十五個四萬一千五百二十四噸四十九なり

人事消息

▲持地六三郎氏(土木局長) 上洛中の處二十一日夜歸任
▲關屋貞三郎氏(學務局長) 同上
▲芳賀榮次郎氏(總督府醫院長) 同上
▲張安逸吉氏(醫學博士) 同上
▲中山勝之助氏(大邱覆審法院長) 同上同日歸任
▲岩永以明氏(釜山地方法院長) 同上
▲山口九十郎氏(海軍少將鎭海防備隊司令官) 同上
▲李斗璜氏(全北道長官) 同上廿一日夜入京
▲李軫鎬氏(咸南道長官) 同上

南言北語

獨逸艦隊が北海に出たとて英佛艦隊が之れを追跡して居る事は既電の通りで快報今か〳〵と待つて居るが未だ來ない▲キール軍港の奧深く隱れて居た獨逸艦隊が急に北海に出た處を見ると▲北海は今や濃霧期であるから獨逸は快速の巡洋艦を以て機に乘じ英の封鎖線を掠め▲アワ能くば敵を其の勢力圈內に誘導し奇功を奏せんとする慣用手段ではなからうか▲されば英艦隊と早晩遭遇戰の起る事はあり得べき事である▲英艦隊が獨艦隊を追跡しつゝありと云ふ處から考へると或は獨逸艦隊が餘り深入して退路を斷たれた結果カツテガット海に竄入したのではなからうか兎に角快報の來るのが待ち遠い事だ▲支那では上海で鄭鎭守使の横死から革命黨の秘密結社は大活動を始めて來た▲彼等の目指して居るのは第一に帝政派の大巨頭奉天將軍の段芝貴であるらしい▲段將軍の奉天嚴戒も尤も千萬だが命にかけてもやる考へらしいのは寧ろ殊勝な處がある▲彼處邊には瑞氣洋行とか云ふ獨逸の商人が大分勢力を以て居るから好い氣になつて煽動しつゝあるかも知れない▲支那の獨探等が何うして彼の樣に大金を遠慮なく撒いて支那を煽動して居るかと思つたら▲獨亞銀行には彼の明治三十三年の義和團事件の賠償金として支那政府から受取るべき二百十八萬磅の金がある其れを彼等が自由に使つて居る事が判つた▲金にあかして世界で一番金の惜しい人間を操縱するから彼等の勢力が忽ち旺盛になつた事は不思議でも何でもない▲其の金を貰つて馬になつて飛び廻るお先眞つ暗の連中は好い面の皮だ之れこそ馬が狐を乘せて居る處好いポンチだ

兩京去留誌

簡淨疎宕なる山川人物の描寫 明快透徹なる朝鮮側面の觀察

蘇峰學人著 平福百穗、山下鈞、鶴田櫟村、柳田謙吉、前川千帆(五氏畵)

本書は著者が朝鮮併合(明治四十三年九月)より今年夏に至る迄、五箇年に亙り屢〻東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものなり。著者の兩京間に往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來每に感興愈〻新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの啻に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕の小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畵伯の繪畵は皆實境に臨んで描く所に係り、栩々眞に逼るの妙あり。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉く本書の爲に特に撮影し、若しくは著者の爲に特に揮毫せられたるものにして、凡て三十二葉の多きに上り、製版印刷倶に異曲同巧の出來榮を呈し、著者の文章と對照して興味津々たり。裝釘は總クロース上製となし、表紙に朝鮮の古甕を打出し、表題は金文字を以て唐太宗帝書の古拓本より抽出したるものを用ふ。體裁淸雅高尙にして眞に几上の淸賞に堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親しむ可し、請ふ幸ひに愛讀を賜へ。

記事內容一斑

◎沿道所見 新橋より京城(一…七)◎短信三十八◎朝鮮各地の視察◎秋晴一百五十里◎一路寒風吹蘭和◎一年兩度の櫻花◎一年の好季節◎愛吾廬雜信◎防人訪客の旅行◎避熱旅行◎双京甍往還◎往來二千日◎雲養集を讀む(一…六)◎朝鮮統治の要義(一…十)合計十五篇 一百三章二百七十四頁

繪畫寫眞目次

◎海峽航行中の著者(三色版)◎在慶州新羅武烈大王陵碑龜趺(寫眞版)◎北漢山(タンク版)◎洗劍亭(タンク版)◎漢江(タンク版)◎子爵尹德榮氏別墅碧樹山莊より南山を望む(三色版)◎愛吾廬に於ける冷淡の生活(寫眞版)◎愛吾廬より仁王山を望む(三色版)◎淸凉里(木版)◎昌德宮秘苑(木版)◎山縣總監の自畵自贊(寫眞版)◎朝鮮街(木版)◎明石中將の自畵自贊(寫眞版)◎鮮人の天長節(タンク版)京城獨立門畔城壁上の大銀杏樹(寫眞版)◎獨立門外般若寺の五輪塔と著者(寫眞版)◎諸名流筆蹟(寫眞版)◎鮮人の家屋(寫眞版)◎鮮婦浣紗(タンク版)◎野田大塊翁の自畵自贊(寫眞版)◎鮮人の船(寫眞版)◎麻浦(タンク版)◎太華亭(タンク版)◎愛吾廬同人庭前の小集(寫眞版)◎子爵金允植氏の德富氏送序の筆蹟(寫眞版)◎故伊藤公自筆南山脚下の詩(寫眞版)◎朝鮮總督官邸に於ける寺內伯(寫眞版)◎寺內伯書故伊藤公南山脚下の詩及び跋語(寫眞版)◎寺內伯書和歌(寫眞版)◎寺內伯書鴨綠江鐵橋落成の詩(寫眞版)◎寺內伯書早發の詩(寫眞版)◎寺內伯書慶州懷古及び乙卯誕辰の詩(寫眞版)合計三十二種

總クロース上製函入 定價金壹圓五拾錢 ▲郵稅本社負擔▲

大賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

あゝ秋風悲し滿洲錦州城

◎支那學生の暴行
日本婦人を凌辱す
錦州城內日本商店前の椿事

排日鼓吹に煽動されたる錦州の初等中學生十數名十八日午後同城內に居住せる日本婦人を毆打負傷せしめたる椿事ありたり同日城內東二道街の日本商店正平洋行の店頭に日本婦人二名打ち寄りて何げなく談話に耽り居る折柄十數名の支那學生店前を通行しつゝありしが

△婦人の姿を見るより打ち囃しきて近寄り來り、先づ硝子窓越に惡罵を加へ喧嘩でも吹懸けまじき樣子に婦人は氣味惡く思ひて表戶を鎖さんものと二三步戶際に近づくと見るや亂暴にも學生等は屋內に亂入し鐵拳を振り上げて先づ一婦人の頭部を毆打せり斯くと見て他の一婦人は

△悲鳴を揚げて救を求めたるより店主阿部氏其の聲を聞きて走り出でしが此の時學生團は鬨を作りて引揚げんとせる所にて阿部氏は直ちに追跡して最後の一人を捕へ折柄巡警中の支那警官に引渡せり邦人側にては之れを聞き直ちに

▽營口領事館に打電し嚴重なる交涉を開始すべき旨を告げたるより支那官憲は狼狽して醫師を派し被害婦人の診察を行ひたるが同婦人は重態にて生命覺束なし（奉天特電）

◎怪驅逐艦の追尾
福井丸南清溫州沖に呼び止めらる

大阪市右近權左衛門氏所有汽船にて三井物產の傭船たる福井丸は去る八日香港發筑前若松に向け航行中暴風雨の爲め石炭缺乏し十九日長崎に入港せるが船長栃木八郎氏の談に曰く十三日夜十時頃本船が南清溫州沖航海中探照燈にて照射せる一軍艦あり十四日朝に至り右は船尾に米國旗を揭げたる驅逐艦なる事判明せるが午後三時頃まで本船を追尾し彼我の距離接近するや右の驅逐艦は何と思ひたるにや『發砲を始む』と奇怪なる信號を爲し本船を一周して異狀なきを認めしが進航を許し更に信號にて緯度を問ひたれば本船は北緯二十八度東經百二十一度三十分と答へしに『汝に謝す』との信號を爲し其儘姿を沒せり多分暴風雨の爲め進路を亡ひたる船なる可きも不思議に堪へざるは船名は何處にも認め得ず唯だ米國旗の揭げありしのみと憤慨し居たり（長崎特電）

●日本の古式は新羅式
袍と廟服の類似＝宋秉畯子謹話

曠古の盛儀に列し稀有の大典に參し得た事は身に餘る光榮と感泣してゐる次第である皇恩に浴し得た私は十日の賢所大前の儀から十六日の大饗宴に到る迄お召に預つた次第だが

■神々しき儀式の總てが殆んど皆朝鮮の古式其儘と言つてもいゝ位に類似してゐる事は非常な興味を起させられた之れ日本と朝鮮と其古に於て是等の事が一致してゐたのを明示するものであるが兩者が全く同樣だとは言へない其間多少の差異はある宮內省あたりの其道に詳しい人に聞いて見ると日本に現存してゐる式は

■新羅時代の風が渡り其儀殆んど何等の變化なしに今日に傳はり來つたもので朝鮮に今日殘されてゐるものは夫れが時代時代の影響を受けて多少宛變化して來てゐる例へば日本で言ふ袍、朝鮮で言ふ廟服又は祭服の陛下の御著服になるものが靑若しくは黑である其裳裾が日本のは後に長く曳く樣になつてゐるが朝鮮のは前後に長くなつてゐるから

■步行く時左右に分れて靴が見えない樣になつてゐる今回の御式で陛下が高御座にお進みになる時木履をお脫ぎになつて足袋素足のまゝでお進みになつたが、朝鮮の式で行けば黑革の靴か又は藁靴を着けたまゝお進みになる次第である今回の御式に於ても各宮殿下方は其式の順序などにお慣れになる爲めに數回御稽古なされた御模樣でしたが李埈公殿下は流石是等朝鮮古式典に慣れてお居での爲め一度御稽古なされた儘で更に

■御稽古を繰返す必要もなく、然も宮內省あたりでの御評判も非常によかつた樣だし寺內總督も非常に悅んで居られた能く朝鮮の兩班が步行く時體を左右に搖動かし所謂一步に一搖をやるが是れ殊更に儀容を重くする爲めにするのでなく多く儀式に參列して居れば自然に體のこなしがさうなつて來るのであろ夫れが今回の如き儀式に見れば明に見える

■長袴を穿ち袍を著用し恁う笏を控えて木履を曳いて步行くには怎しても急いでは步行けない自然に悠々と步行かざるを得ない事になるし夫れに尙木履が履く人の足に合はせて造るのでなくて步行く時は引摺つて步行く樣に造つてあるのである隨つて一步進めば進めた方の片腰をどうしても搖らなければならないのである朝鮮では今でも宗廟の祭式などには此通りの式が行はれてゐる彼れ此れ思ひ合はせて日鮮の親和古今を共に深い事を切に感ずる次第である

◎福岡俘虜收容所を逃亡せる
獨逸將校京城に捕はる
受取の爲め鈴木少尉入京

十三日福岡俘虜收容所を逃亡したる五名の獨逸俘虜將校中一名は巧に姿を晦まして朝鮮に逃れ來りたるが二十日夜京城市內に於て憲兵隊の手に逮捕されたり、同人は普通の觀光客なりと稱して實を吐かざるも其の外套には肩章を剝ぎ取りたる跡あり、答辯亦前後甚だ矛盾せるより察するも俘虜に相違なきこと無論にして二十三日福岡より入京の筈なる俘虜係鈴木少尉に引渡さる可し

▲五名逃走

福岡に收容中の獨逸俘虜海軍少佐以下四名十三日來逃走し目下搜索中なり（門司特電）

▲門司より京城へ

廿日朝九時三十八分門司著列車より下車せる一名の外人あり紺色の外套に水色の帽子を著し米國人なりと觸するも擧動怪しき處あり西細江派出所の人々の視線を惹きしが茂手木巡査は直に同人に就き取調を開始したるが米國人なりと云ふも其の發音は確かに獨逸人なるより愈怪しと嚴重取調を進行せしに一葉の名刺を出せるを見れば自筆のものにしてフランク、ダブリュー、ミラーとあり年齡を問へば三十五歲と答へ最初は傲然として何等語る處もなかりしが取調の嚴重なるより彼は語り出し自分は上海より日本に來り之より朝鮮に赴くものなり自分の祖父は獨逸人にして米國に歸化し目下は米國市俄古に居住し居れり旅行の目的は商用の爲めにして他に何等の目的なしと云ふより釋放し同人は十時十分出帆の關釜連絡船にて渡鮮したるが時節柄怪しき米國人なりと何れも評し合ひたり（門司特電）

▲手品の種の名刺

本月十三日福岡俘虜收容所より五名の俘虜逃走し行衞不明となりたるもの內一名は渡鮮したる形跡あるより同所より京城へも直ちに手配の電報ありたり然るに二十一日朝釜山より

奉天行の急行列車に怪しき外人乘込めることを突止めたるを以て京城にては同列車の南大門驛に著するや豫て憲兵隊司令部總監部警務部本町署等より出張し居たる係員直ちに車內を臨檢したるに果して目星しき一外人あるより同人を本町署に引致し滯警務部長臨友警視宮部署長等立會にて取調べたるに同人は頗る强情にて初めは中々に實を吐かず米國市俄古生れの者にて獨逸人に非らざる旨言ひ張り居れるも米國語をよく解せず日本觀光の爲め渡來したるものなりなど出鱈目を並べ居れるも風采其の他より渡鮮したる逃走俘虜の

少尉フリードリッヒ、モーデルの人相に酷似し疑なきを以て目下憲兵隊司令部の營倉に留置し居れり尙ほ同人は

名刺用紙數枚を所持し居り隨時詐稱の氏名を記載するものらしく手荷物としては僅かに手提鞄一箇を所持するのみ身には粗末なる紺背廣の上下服を纏ひ其上に茶褐の外套尙其上に防雨劑を塗りある夏外套を著し赤靴を穿ち居れり年齡四十五歲にてフランクダブリュー、ミラーなりと自稱し居れり

◎萬歲旛の代金

京城觀水洞百十五番地居住無職中川欽三郞（二五）は九月十日頃より明治町一丁目村山某方の萬歲旛豫約募集員となり之れが募集中豫て同人より見本として請取りたる萬歲旛三旒（計六圓七十錢）を同月二十八日旭町一丁目某氏外二名に悉く賣却して代金を消費し尙萬歲旛は前金に非らざれば賣却せずと稱し九月二十九日蓬萊町の布藤某に一旒賣り代金を消費し其他同月中數箇所に賣却したる代金を悉く消費して村山に支拂はざる爲め鍾路署の警官に看破せられ取調べ中

◎金側時計と鎖

長崎縣長崎市築町生れ京城南大門通五丁目稻葉旅館止宿川原伊藤次（二五）は慶南東萊溫泉內山米太郞方に雇はれ中十一日午後二時頃家人不在中佛壇の抽斗にありたる鍍金鎖附金側懷中時計一個（百四十圓）及び純金指輪（二十七圓）外二點現金二十三圓を盜取し京城に逃げ來り現金は悉く消費し他の品は所持し居る所を本町署の手に捕はる

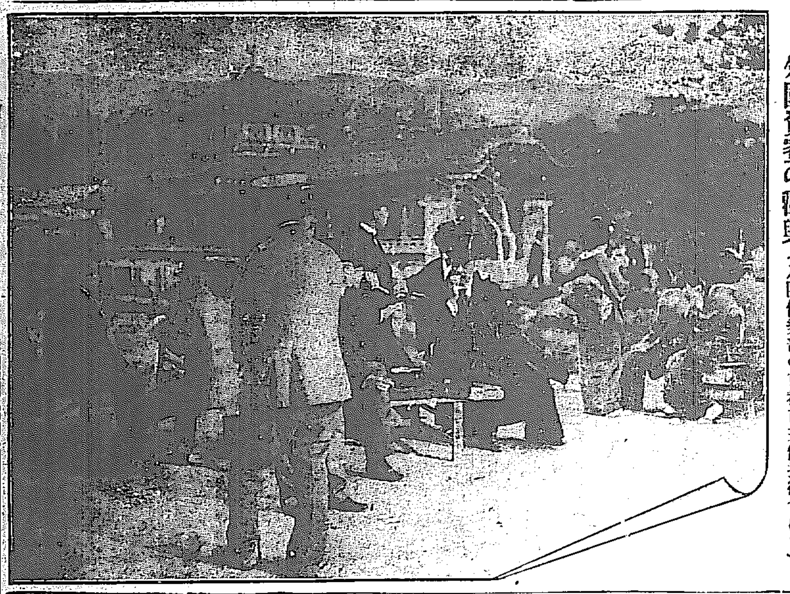
◎釜商對龍山軍野球戰

既報の如く釜山公立商業專修學校對龍山鐵道軍との野球マッチは廿一日午後一時より商業學校々庭に於て商軍先攻にて開戰し兩軍共飛球熱球を飛ばし頗る壯觀を呈せるが終に四對二のメンバーにて龍軍の勝利となれり

◎心理感應學講演

二十二日午後六時より倭城俱樂部に於て金田萬次郞氏の心理感應學術講演及び實驗あり參觀無料なりと當日の次第左の如し

一、心理感應に就きて　金田萬次郞氏
二、人體感應術實驗　同氏
三、動物感應術實驗　同氏


外國貴賓の歡興（八阪俱樂部の京都市主催招待會にて）

明日の映畫（フイルム）
京城の活動寫眞界の革命期迫る
一 盲目的競爭

■牛年の京城は爲桃行卦に入つて越路、奈良丸、天勝、新聞子なんど、更に角內地の大きい所が共進會の前から御大典にかけ相踵いで飛び込んで來たがその代りに此の館かの間に時ならぬ龍卷を起して荒し捲くられた事も少々ではない。ところで散々に引掻き廻された上に此の社會での二百十日、野分も過ぎ去つて滅茶苦茶に寂びれて來た。

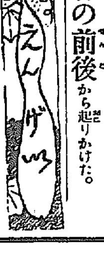
■併し此の間に僅かに命脈を保つてゐるのは活動寫眞丈である、今更らしく驚くわけではないが思はずには居られない。何しろ年に一度あるか無しの芝居の總見話には頭が痛くなつたり腸痛んだりしても活動の總見と言へば文句はなしに飛びつて喜び勇んで出掛けた邪のある歡迎さへいふもの、擬んでる土地だから不思議ではない

■京城の人の活動熱を煽りたてたのは昨年秋から今年に掛ての大正館と黄金館の盲進的の競爭だつた、**京城の活動熱の凄じい**の**入場料を一定の線に止めて置いて映畫の點で目覺しく**やり出したのが一般の活動見物の趣味を上向かせたと共に今日の隆盛を來した所以でもあつたのだ、それは一面黄金館と大正館との營業上の競爭であると同時に天然色會社と日活の角突き合ひの樣な形になつたから餘計に面白くなつたのだ。

■此兩者の競爭は今日でも依然として繼續されて、又將來と雖も何れか一方が倒れない限り止む事はないのであらうが、昨年の春頃から今年にかけての競爭程**意義のある競爭**は當分行はれまいと思はれる。極めて新時代であつた京城の活動趣味は此の時代を一轉機として進んで來たのであつた、隨つて寫眞の方から、此の潮流に遲れまいと**ぐんぐん步を進めて行つた**、それがために飛び離れていゝ寫眞もくれば際物の聚晴いものも顯られた。

■外人に言はせると今日では京城の**寫眞は淺草邊と同じ程度**になつてる、見物の頭より寫眞の方が進かこんでゐるので、却つて折角のいゝ寫眞も了解されずに終る事があると嘆ずる。或は然うかも知れない、然し其の源を糺ねれば京城で發はれた鑑賞眼であるにしても京城の活動見物の常連が寫眞の是非甲乙を區別する眼識の高くなつてるのは爭はれない、それ丈**寫眞に對する注文も贅澤だ**

■茲に於てか活動經營も從前通り樂ではなくなつた、儲けも尠なくなつた、話が恐ろしく變れて來たが要するに今日の活動寫眞は恁うした樣に進んで來たのであつたが一大革命は**共進會の前後**から起りかけた。



▲黄金館新寫眞　二十二日より全部差替へたる寫眞の主なるものは滑稽メンクの組合員、歐洲戰亂白耳義に於ける出來事、軍事劇『頭吹太郎』及び熊本に於ける日蓮宗信仰の奇蹟劇『熊本盲猫傳』なり

▲大正館　本紙連載の瀧川伴五郎は非常の好評にて連夜大入を續け居れり

▲御成座　二十二日の舊劇『亂れ髪』

好評如湧……
舊劇　瀧川伴五郎
新派悲劇　許嫁
明日は晝夜二回開演可致候
大正館

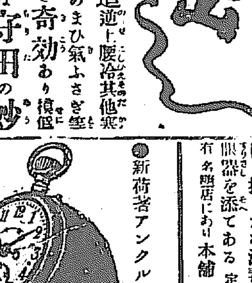
●宿料を踏倒す
……なし居る內十月二十五日同家の金員……州にて面識ある同所事務員原某を欺き……を詐稱して投宿し……
……二圓の橫領　香川縣大川……費し自轉車は擔軍に……南大門……氏共貸牌授與されたるを以て本月十……

●油斷大敵
風邪は萬病の本
補溫劑にして健胃（便通をよくす）之を兼ねたる飲みよく偉効ある風邪血の道の良藥守妙を措いて他に藥を求むるは
そは餘に愚なり
輕微なる引風を等閑に附するが爲め逐に不治の大患に陷るは古來其例尠しとせず、我が妙振り出しは即ち此の四季の引風及びたんせきに最も妙にして殊に婦人血の道逆上腰冷其他寒冒のあたり、頭痛めまひ氣ふさぎ等に用ひて驚くべき奇効あり模倣物多し御購求の際は守田の妙振り出し即ち守妙と必ず御名指を乞ふ
注意
定價　試用一貼金五錢　二貼金拾錢
德用包　六貼入金廿五錢　十三貼入金五拾錢　二十八貼入金壹圓　六十貼入金貳圓
東京上野池之端仲町二十七號地
寶丹本舖　守田治兵衛
振替東京二九八五番
（全國有名藥店にて販賣す）

●急告
●梅毒專門藥唯一丸
梅毒胎毒橫根痔瘻りよまちす等の病毒より來る病毒は毒菌を治滅すると共に安全に體內より驅除すべき靈藥により其目的を達す現今梅毒藥其他の幾多の梅毒藥は胃腸障害の副作用を起さず此兩特効を併有する專門藥は梅毒唯一丸なり百藥効なきも此良藥により不安を去られよ
三日分四十錢一週間分八十錢二週間分一圓五十錢一ヶ月分三圓
●全國有名藥店にて販賣せり
梅毒養生法無代進呈
發賣元　中西藥局

朝米
致富之寶無代進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
（正）橋本猪作

目ニ見ヘテ ズンズンキク シュマズ イタマヌ
井上博士 ロート目藥
目を拭くため消毒した布と新案の點眼器を添てある　定價大瓶廿錢小瓶十錢
有名賣藥店にあり　本舖 東京大阪 山田安民藥房


●新荷著アンクル式片側懷中時計●
右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して此好機に御注文を願上候尙地方諸賢の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貿易直輸入商
本店　京城本町二丁目電話九七二番
イングレッシー商會

◎咸南記念事業

御大典を永へに記念すべく咸鏡南道各地に於て目下計畫中なる記念事業は左の如し

▲端川郡 本郡の記念事業としては從來爲し來りし以外に面模範林を經營し尚ほ國有林野讓與を廣くするの計畫なるが其の他邑內官民としては郡廳裏丘崗に公園的設備を施し此の外公立普通學校に於ては巡回記念文庫各私立學校は記念植樹を行ふ事となれり

▲利原郡 本郡に於ては官民有志より寄附を募集し之れを資金に記念公園を建設すべく議成り同公園地には櫻樹を植る事となれり尚ほ郡にては此好機に際し面模範林の計畫ありて着々其の歩を進めつゝあり其の他普通學校私立學校等にては記念文庫並に記念植樹を行ふべしと

▲遮湖港 本港に於ける記念事業として郵便規約貯金を組織し一切之れに加入する事となりたる外日鮮人賦役に依り利原街道遮湖入口道路附近に延長約百五十間の堰堤を設け以て水害の豫防を爲さん計畫にて本工事も近く著手すべき準備既に成り居れり其の他大典記念碑建設及び計畫中なりし倶樂部も此の際實行せんと官民一同極力之等に意を注ぎ居れり

▲新昌 當港の記念事業は貯金奬勵上一面貯金思想の向上を圖るべく記念郵便規約貯金を設くる事に決し其の他の日鮮官民一般に於て記念植樹を爲す計畫なり

▲北靑郡 本郡は主なる記念事業として同邑內に大神宮を建立せしを以て之れを大典記念事業とし他に邑內日鮮人として何等計畫なきも郵便局にては規約貯金を奬勵勸誘せん意氣込なり其の他郡としては面模範林、模範農里記念植樹等行ふべく尚ほ各公私立學校にては記念文庫及び植樹を行ふべしと

▲洪原郡 本郡に於ても面模範林記念植樹の事業は他郡と同樣なるも邑內としては既に其以前同地に公園を設け神社を建設したれば之れを記念事業に代ふる事とし近く同神社に御神體を奉納し祭典を執行するの計畫あり尚ほ各學校にては記念植樹を行ふに決せり

▲西湖津 當地の記念事業は本道沿岸港中最も大規模のものにして且つ公益に盡す所多からんとす即ち經費約二百圓を投じ尚ほ日鮮人賦役を以て陸地海岸より同港內に横はれる小陳島間約三十四間の海中を埋築し此に幅一間の道路を築き小陳島左側の中間に道路を延長し此處より同島に四尺幅の道路を千鳥型に造り山頂に達せしめ頂上には四五十年の平地均しを施し其の中央に記念碑を建てることゝなり既に其の工事以上を終りたるが尚ほ第二の計畫として近く同山頂に金毘羅神社を設け一個の常夜燈を以て航路標識に代ふる方法なり而して同島に一般公園的設備を施すこととなれば四季を通じて同所に杖を曳くもの多かるべし

◎大豆取引閑散 最近の元山貿易

元山港に於ける十月中の貿易額は輸出三十七萬四千六百十二圓輸移入三十八萬六千六十五圓にして之れを前月に比較するときは輸移出五萬六千八百四十八圓輸移入五萬六千七百八圓の增加を示せり之れ(一)時局の影響に依る皮革製品及び

▲皮革類の需要 依然旺盛なること(二)衣料品等季節向き用品の最盛需要期に入りたること(三)季節の關係上土工用品の入荷を促進したること(四)御大典期切迫の爲め之等式典用品の臨時移入ありたること等其の直接原因にして例年に比し氣候の温暖なること及び地方一般農作の良好なること等は之れが間接原因をなせり尚ほ之れを前年同期に比するときは輸移出に於て二十七萬八千九百五十四圓、輸移入に於て九萬千七百七十四圓の增加を示せり前年同期にありては時局の影響に因る生牛浦鹽輸出の復活したるものありと雖も時局の勃發に伴ふ急激なる

▲貿易界の變調 は痛く一般人氣を阻喪し容易に之れが樂觀を許さゞりしものありしのみならず地方の金融概ね逼迫して取引の澁滯を來たし物價の騰落又激甚にして當業者の採算關係を混亂せしむる等輸移出入業者をして極端なる手控へと警戒とを怠らざらしめたるが爲めに外ならず、然るに爾來已に一星霜を經過し時局の推移すると共に内外經濟界の恢復するに連れ前年來の緊縮的取引は一方需要の昂進と相俟つて茲に反動的景氣を添ふるに至りたる所以なりとす、輸移出品の首位を占め居れる大豆は新大豆の出廻り期來りたるも内地斯界に於ては

▲依然商勢軟弱 を示し取引極めて閑散なり、即ち十月移出額は新舊品を合せて一千七百七十七石九千三百三十五圓にして地廻品最も多く咸興平康產之れに次ぐ本年產は品質一般佳良にして前年に比し二割方增收の見込みなれば今後相場の向進するに伴れ相當の出穀を見るに至るべく仕向地は依然阪神關門地方に限らる、又輸移入品の首位を占め居れる綿布類は前月來各品共入荷增進せるも天竺布綿繻子にありては九月を以て移入最盛期とし漸次減退の趨勢にあり然るに生金巾は三萬六千七百八十七圓晒金巾一萬二千百廿圓日本木綿九萬二百三圓等何れも前月に比し著しく增加せり之れ一般季節の需要關係に基くものなりと雖も亦前年來地方に於る緊縮的取引の反動的作用に依るもの多し而して之等主なる分散地は江原道江陵、長箭、通川、淮陽、咸鏡南道安邊、永興、咸興、前津、新浦、新昌、北靑、城津、平安南道陽德等にして合計二千五百梱の荷動きあり

◎移出檢米實施

兼て準備中の移出米檢査は二十日より左の箇所に於て實施せらる

木浦、法聖浦、榮山浦、羅州、鶴橋、筏橋、松汀里、長城

當期節に於ける檢査は最初の事故稍試驗的時期に屬し實績の如何は明春四五月の交に至らざれば判明せざるべし然れども檢米の實施は從來に比し其の品質の優良に向ふは確かに豫想し得べき處なり

◎北鮮の降雪 寒氣遽かに加はる

元山地方は去十八日夜より氣溫著しく降下し各河川は薄氷を張り夜に入ると共に寒氣益々加はり十九日の朝は小量の降雪を見たり淸津地方は十八日以來降雪歇まず積雪二三寸に及び豆滿江會寧附近の流域は去る十月以來兩岸より六尺宛凍結せり北鮮一帶を通じ今年は例年に比し頗る暖かく十一月中旬迄は外套の必要を感ぜざりしも十九日以來寒氣遽かに加はり爲め今後は引續き降雪を見るに至るべし

◎平南部長更迭 平安南道第二部長水口隆三氏は總督府事務官に榮轉し後任としては忠淸南道財務部長たりし吉松憲郎氏就任すべし

◎棧橋竣工期 木浦港稅關棧橋架設工事は豫定の如く進捗しつゝあれば來月二十四五日頃には竣工するに至らん

◎柔魚と鯖の試漁 咸鏡南道に於ては六月以降十月に至る迄沿岸にて柔魚及び鯖の一本釣を試み漁場の開發をなさんとしたるも成績良好ならざりし爲め中止せる由なるが此の五箇月間に於て漁船が暴風の爲め江原沖に流されたる際長箭附近にて柔魚六十餘を得たる以外には柔魚の漁獲なかりしと

◎群山より 天野群山府尹は十七日午前十時より群山官民數百名を府廳後丘會場に招待し御大典奉祝賀宴を開催したるが席上主催者天野府尹の挨拶來賓を代表して大橋判事謝辭を述べ次で祝宴に移り宴酣にして天野府尹の發聲にて陛下の萬歲を三唱し花月三陽亭の藝妓手踊偶々來演中の東京落語柱三木助一行の茶番狂言ありて頗る盛會なりき▲官民奉祝會 群山官民數百名は十七日午後三時より群山小學校前庭の御大典祝賀宴會場に參集し盛大なる祝賀宴を張りたり▲青年會講演 群山青年會は廿日午後七時より群山幼稚園を會場として御大典記念講演會を開催したるが出席辯士演題は(一)開會の辭、會長藤田文一氏(二)活動と靜慮、千葉胤氏(三)元氣論、佐藤政次郎氏(四)靈氣に富める教養ある紳士、永田權二氏(五)植民教育に就て桑島兼三郎氏(六)國民教育と宗教、阪上貞信氏(七)新時代に於ける忠君愛國、鈴木高志氏等にして各所揭の題に熱辯を振ひ頗る盛會なりし▲農校生產品評會 當地公立農業學校にては二十一日午前九時より生產品々評會を開催し農校出身生徒の生產農品現在校生徒の生產農品農具を陳列し一般來賓の觀覽に供したるが其成績實に顯著なるものありき因に來賓は生產品の觀覽を終り農校生徒の餘興競技數番を觀覽し次で農校生徒の生產せる野菜を材料とせる調理試食宴を開き來賓は田園の珍味に舌皷を打ちながら桑島校長の熱心努力の效養を稱揚せざる者なかりき▲鮮銀新舊所長招宴 朝鮮銀行群山出張所長井上正愛氏は京城本店詰に榮轉となり同行木浦出張所々長泉末治氏來任交迭に確定せるを以て當地官民は井上氏の轉任を惜むと共に氏が在任中の功績に酬ゆる爲め天野府尹以下民間有志發起となり記念品を贈呈する事となりたるが廿一日午前十一時より鮮銀出張所を會場として井上泉新舊所長主催となり群山官民有志百數十名を招待し兩氏が更迭披露宴を開催し宴酣にして井上泉新舊所長の挨拶天野府尹來賓を代表して謝辭を述べ餘興に移り花月藝妓手踊偶々來群中の桃中軒浪右衛門の浪花節等ありて主客十二分の歡を盡し散會したるは午後三時也

◎餅賃搗 貸宅へ出張當方に限り 四十錢 宅搗共一斗 今回開店披露の爲め十二月五日迄に御申込の方へ乃木將軍像進呈 本町二壽前 乃木餅屋 電話二七五二番

◎連絡船上陸客 二十一日午前釜山入港高麗丸一二等客 一等(十六名)[illegible] 二等(三十四名)[illegible] 三等(百六十二名)
廿一日午後釜山入港對馬丸一二等客 一等(二名)[illegible] 二等[illegible] 三等(四十八名)

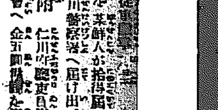
(右欄)
…年一月二十五日頃從兄弟なる全南光州西光山町須藤某方に寄食し同家の世帯向き會計を受合ひ金錢の出納を…一月一日迄の…を踏み倒して妻を…隨まし同日午…時頃長谷川町なる共進會全羅南道事務所に行き豫て光…し十一月三日には本町三丁目なる大…旅館に至り商用の爲め木浦より入京したる佐藤友治といふ者なりと氏名…宿料を踏み倒して…取調への上檢事局へ送られたり
…店員として雇はれ中…先なる天野某方へ自轉車にて集金に…十時頃旭町一丁目得意…金二圓を領收し之を飲食代に消…し居る…本町署の刑事に取押へられ…

◎賞牌を授與さる 仁川新町大沼清太郎及び宮町齋藤德平の兩氏は名古屋に於て開催されたる帝國食糧品博覽會に出品されたるが…

…個遣失しありたるを某鮮人が拾得屆出でたれば心當りのものは仁川警察署へ屆け出づべしと

◎鎌田氏の寄附 仁川府…鎌田新太郎氏は此程仁川警察署へ金五圓…寄附したり

豫報



京城測候所 廿二日午後二時…

商況

東京株式特電

二十日	前場寄付	大引
日本郵船	一一七、八〇	一一七、七〇
日東瓦斯	……	……
鐘淵紡績	一二五、〇〇	一二五、〇〇
新株上置	九七、四〇	九七、三〇
日本麥酒	……	……
東株第一	一九〇、五〇	一九〇、二〇
東内第二	……	……
東新第一	……	……
東新第二	一五九、一〇	一五八、九〇

東京債券現物特電

二十日出來値段(前日との比較)	
東洋拓殖	六八、〇〇
日郵丸新	……
朝鮮銀行	二四一、〇〇
朝鮮瓦斯	……
南滿鐵道	……

東京公債直取引特電

二十日出來値段(前日との比較)	
五分特別	……
九分津鑛	……
一回四分	八一、三〇
二回四分	八〇、七〇
甲五分	九八、二〇

深川在米特電

二十日出來高	
朝鮮米	三一、三六七
肥満米	六三、七八四
内地米	一五二三、五六八

東京期米特電

二十日前場	一月限	後場
寄付	一三、六五	……
高値	一三、八八	……
安値	一三、六一	……
止め	一三、八八	……

大阪株式特電

銘柄	拂込額	後場止値	二十日前場
宇治川水	五〇、〇	……	七〇、〇
神戸電鐵	五〇、〇	……	……
京阪電鐵	五〇、〇	……	五二、六〇
和歌山紡	二五、〇〇	……	……
合同紡績	二〇、〇〇	……	五二、六〇
鐘淵紡績	五〇、〇	……	二二四、〇〇
同上新株	三五、〇	……	九六、〇〇
東洋紡績	三五、〇	……	九八、二〇
大阪商船	五〇、〇	……	九六、二〇
日本郵船	五〇、〇	……	一一九、八〇
大阪米穀	五〇、〇	……	五四、二〇
東京新株	二五、〇〇	……	一五八、七〇
大阪株式	五〇、〇	……	一六九、六〇

大阪三品特電

二十日前場	寄付	大引
十一月限	一一四、四〇	一一四、七〇
十二月限	一一五、一〇	一一五、五〇

大阪期米特電

二十一日前場	寄付	大引
十一月限	一四、〇四	一四、七〇
十二月限	一六、七〇	一六、五〇
一月限	一七、五〇	一七、六〇
二月限	一八、八〇	一八、一〇
三月限	一九、〇〇	一九、〇〇
四月限	一一、〇〇	一一、〇〇

下關期米特電

二十一日前場	當限	中限	先限
寄付	一三、九二	……	……
高値	一四、〇四	……	……
安値	……	……	……
止め	一四、九	……	……

朝鮮物產特電

釜山大豆、浦項大豆、元山大豆、仁川大豆、平壤大豆、鎭南浦大豆、群山大豆、木浦大豆、仁川白米、京城白米、平壤白米、釜山白米…(各相場)[illegible]

五十錢方暴

雜報

◎其後の製粉界 市況は先行左して活躍ならざるも…海外輸出商談も成立し…

◎元山大豆 八圓五十五錢 八圓六十錢 九圓三十錢

◎燐寸益々強硬 …

來三月頃迄は原料の準備あり

昨今にては小麥在荷の減少により價愈々引締り少しく困りたる手合は八升五六合に非ざれば買入れ難ふ有樣なれば各社も明春の思惑にて弗々買附け居る振合なり併し日本日清東亞の三社は製造力を制限せば來三月頃迄は原料の準備ありと稱し此際…は從つて小麥は八升五合を當分の頂と假定し製品は竹鶴辨天の各…

年内の高値は二圓六十錢位を豫想

…位なるも本社は何れも新手合二圓五十錢位を手堅く維持…

仁川米豆取引所仲買人 一定期賣買の御用命は 田 仁川港町三丁目 電話…

地方注文 結氷期前 …

皆無の姿 持荷殆ど …

二十九圓乃至三十圓 …

◎板硝子在荷拂底 板硝子は内地製品の價格騰貴せしみならず來年二三月迄は移入不可能なるべし…

在荷の拂底 …

黑藍十六圓 …

給に付ては今後當分の補 …

◎白米 精白は前項の如く米高と移出…

續々買注文の殺到 …

新期引取に應ず …

地場賣 …

一二三十錢高 …

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 電話…

下關相場

▲朝鮮白米も小堅し 前報後五百八十叺の輸入ありしが前日來期米の…

▲大豆は … 其後寬川物三百六十叺…

京城正米

宮川大豆	九圓十錢
長湍大豆	九圓
永興大豆	八圓七十錢

▲前場爆發す 大阪の大爆 一昨後場保合…

發止正米高 …

四十錢高 …

文を抱 …

此處一押し豫期 …

▲愈々立直りか …

根本的立直 …

南大門廻着米

二十一分			
汶山籾	五三叺	六二叺	
金村白米	……	……	
始興白米	……	……	
沙里院白米	……	……	
小井里白米	……	……	
永洞白米	……	……	
烏山籾	……	……	
天安白米	……	……	
水原白米	……	……	
平壤白米	……	……	
黃砂籾	……	……	

仁川現物市場

▲籾入津 約六七百俵 黃海籾三限八十錢より四圓三十錢 忠淸道四圓三十錢四十錢神力籾 ▲正米神力合格品十四圓十五錢二十錢 圓六十錢等にて十錢高 ▲地廻合格品九圓九十錢九十五錢不合格九圓六十錢等にて氣配二十錢

▲大豆入津 約三千叺 強保合 ▲籾入津 約六七百俵 ▲正米 百五十叺 氣配高人氣 ▲大豆 二千二三百叺 強保合

海岸町 吉 行賣仲買店 電話…

仁川期米

二十二日前場 三十六錢 …

大上放 …

跡二節五十四錢 …

高移 大阪跡尚高移 …

仁川米豆取引所

二十二日の一月限

前場		
寄付		九圓八十錢
〆		九圓七十八錢
高値		九圓八十錢
安値		九圓七十二錢
出來高		四萬二千五百石

平均値段	
一節	九圓七十九錢
二節	九圓七十六錢
三節	九圓七十八錢
四節	九圓七十二錢
五節	九圓七十九錢

	賣買取組高	出來値比較
十一月限	五千三百石	
十二月限	二萬二百五十石	
一月限	四萬九百五十石	

▲北濱だより

▲商船株の前途 …

▲米株利喰押 …

市場零聞

▲前場の商戰 …

小賣白米

一等白米 十三錢 次白米 十二錢五厘

◎御大典記念祝盃 (御即位式當日の郵便局記念スタンプ押捺)
品質保險付
壹千組を賣盡して猶ほ續々御申込有之候に付更に二百組限り
三ツ組(大直徑四寸)桐箱入(中同三寸五分)(小同三寸)
朱塗金梅金蒔繪鳳凰麒麟八咫鏡(記念文字入)
御申込を受け實費金壹圓貳拾參錢(一組料荷造費共)にて分譲可致候御申越次第引替小包にて送る
仁川濱町 京日仁川代理店 電話二…

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醬油 代理店 京城明治町一丁目 山邑京城支店 櫻正宗 發賣元 電話八四九番

消化と毒けし 仁丹 御大典の祝賀に人込に 是非必要 仁丹 金言 忠臣は國ある事を知りて家ある事を知らず(先哲)

入院隨意 京城永樂町二丁目(商品陳列舘裏門通) 酒井婦人病院 電話二六〇〇番

大日本優良淸酒等 白鶴 品質純良 衛生無害 釀造元 嘉納合名會社 發賣元 京城本町四丁目十四番戶 前田酒店 電話…

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟) 諸積立金廿二萬五千貳百圓 株式會社 朝鮮商業銀行 京城南大門通一丁目 一般銀行業 倉庫業 銀行長 趙鎭泰 支配人 豊田明 南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 電話…

越後大評定

第五十一席　早川貞水口演

天守閣の取崩し

小栗美濃ヂリ〳〵ツと詰寄り、今にも小刀を抜かんの有樣、忠直公初めて無明の夢覺めたる心地にて『美濃免せッ』其手を拂つて退出遊ばさうとすると、左の御手を把り『まだ申上げる次第が御坐る』スツと二重壇から引降すと、いきなりグイッと捻ぢ伏せ切尖を咽喉の邊へ押當て『愈々御改心下されぬとあれば、八逆の大罪人となつて、主君を弑し奉り、切腹いたします、如何で御坐る』美濃守精忠面に表はれ、兩眼血走り、鬢髮ザツ〳〵と立上り、ウムームツ

と睨んだ其の有樣、否と仰せられば一突と云ふ容子、一同の御近臣戰慄へ上り『アレ〳〵』と云つたが、何人一人來つて之を止める者これなく忠直公さすがに忠臣の鐵石心には敵し難く『美濃ッ、予が惡い赦せ、五重の天守造營は思ひ止る』美『ハア恐れ入り奉る早速御改心下し置かれまするか』忠『確に予は改心いたす、者共五重の天守破却いたせッ』〇『ハーッ』小栗美濃とび下つて小刀を鞘に收め、バラ〳〵と涙を流し『主に對し御手向ひ致すは道にあらざれど、御家には換へ難しと存じ、死を決して申し上げたる所、御聽濟み下し置かれ美濃滅に安堵仕りましてムる、又只今の御諚に、五重の天守破却せよとの仰せ、出來上りたる石垣御取壞し遣かるゝや』忠『左樣ぢや免せ』美『ハハッ』殿樣ゆるせと仰つしやるのを强ひて申上げられぬから、美濃守有り難く御禮を申上げる、其内に築き上げたる石垣を取拂ひ、ドン〳〵地形を掘出し、一日の間に取片付ける、之を見屆けて美濃守大に安心いたし老臣に對し、今後斯樣な事のないやう、くれ〴〵も注意を與へられたることにて、御歸國相成る。すると忠直公、美濃が信州諏訪へ立歸つたならば、萬も再びは出て來まい、五重の天守、急ぎ再び造營に取掛れ、此度美濃の許へ知らせる者は其者手討、家族は追放致すに依り、左樣心得て居らう』再び五重の天守を築くことゝ相成り又々今村掃部に對して御沙汰になりました』そこで是非なく晝夜の別ちなく工事を急ぐ、すると此事を御聞きになりましたのが、親戚の伊達中納言政宗公、中將忠宗公、伊達丹後、片倉小十郎を御呼び遊ばし、兎に角此度の越前家五重の天守御造營は容易ならぬこと、其實否を確かめるやうにとの仰せ、茲に窃に今村掃部を伊達家が御招きになる、掃部越前福井から奧州仙臺まで參りまして、中納言樣に御目通致した時に、政宗、忠宗、片倉小十郎等伊達一門の方々御列席『此程越前家にては、五重の天守御造營とのこと、眞實であるか』との御尋ね

入院隨意 京城南大門通三丁目（鮮木商店横入る） 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

十一月廿四日九星　舊十月十八日巳未　本命五黄八方威先貢

▲五黄● 氣崩れのする事有日 新事見合南方は吉 暗劍なし▲六白● 機轉のきく日 轉居入學金談名弘宗作求職婚禮先を見越たる商事等皆吉▲七赤● 渴望を充たす日 轉居入門金件求職建築婚禮探鑛試驗を受る等萬吉▲八白● 押賣主義の事有日 新事見合萬事は吉 又散財を防がるべし▲九紫● 効を斷ずる日 轉居開業尊皆吉女子の學藝により立身の道に出づ大有望の日也▲一白● 目算違いの事有日 新事手控萬事は吉 買物に用心せらるべし▲二黒● 誘はれ難儀の事有日 新事手控萬事は吉 交際に注意せらるべし▲三碧● 氣に叶はぬ事多き日 新事手控萬事は吉女子は行儀を守らるべし▲四緑● ふと拗がるゝ事有日 新事手控當の事は吉 保證捺印等せぬがよし

演藝案内

櫻井町 電話八七三番 **大正館**　◎十一月十八日より特別大寫眞提供 ◎實寫アラジラの風景 ◎滑稽[illegible]の失敗▲伊太利アンブロジオ會社傑作 探偵の活劇鬼女優全三卷六千尺 ◎女優[illegible] [illegible]

黄金町四丁目 電話二六三七 **黄金館**　天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 [illegible]

龍山停車場前 電話（龍山）四一番 **龍光館**　○十一月二十二日全部差替 [illegible]

本町 電話五七八 **壽座**　日本活動寫眞株式會社寫眞 十一月十七日より [illegible]

壽町 電話一〇五〇 **壽館**　十一月十九日より ○後藤三代記（吉田勝利）○東京落語 即席問答（三遊亭圓松）○義烈白仇 野狐三次（神田伯龍）○木村長門守 ○は組喧嘩 衛門○をなじみの國定忠次 △紀の國屋文左 長講二席（吉田虎右衛門）●木戸錢無料

町 電話二一九一 **御成座**　進步團一行お待ち兼ねの乱れ髮 乱れ髮後編 全十二場 [illegible]

痳病梅毒

◎痳病療法に付て

醫術の進歩に供ひ痳疾治療法は諸大家の競ひて研究し內服藥は勿論洗滌法注射法等種々立案ありと雖も未だ完全なる結果を見ず今猶も學者間研究中なり
然るに本館發賣の治淋藥は昨年二月發行以來今日迄數千の患者に付き實驗する所に百發百中とも謂ふ可き成績を現はし且つ多數の醫師に於ても本劑を專用するもの次第に增加するに至れり殊に本劑は醫藥界に於て痳疾特効藥として雷名高き『ボロウエルサンタール』油『Bolvel[illegible]』並に[illegible]秘傳藥を配劑調製したるものにて[illegible]
或は痳病藥として醫藥に列なき一日分四十錢乃至五十錢にも當る一瓶を以て[illegible]ばず斯る法外なる高價藥を購ふ時は必ず醫師又は藥劑師に謀りたるも可ならん
本館の治痳藥は主藥公開しある通りなれば治痳素人は勿論醫師用として無比の治痳良劑なり

治痳藥　一週分カプセル五十個入 金一圓二十錢　二週分同百個入 金二圓二十錢

治痳球　一週分カプセル五十個入 金六十錢　二週分同百個入 金一圓十錢

◎梅毒秘密療法に付て

▲梅毒療法種類を擧ぐれば（一）六〇六號注射法（二）水銀劑注射法（三）塗擦療法（四）吸煙療法（五）浴療法（六）各種內服藥

以上六種であるが一得あれば一失あつて[illegible]

根治丸　一週分 金六十錢

擔任藥劑師 中島義次　助手藥劑師 渡邊力

京城南大門通四丁目 電話二五九三番 振替口座二二六八番 **救世藥館**

『賣藥』『製丸』『製藥』製造の依頼に應ず

如何にせば精力が增すか

仕事—身體の變化—疲勞—精力の減退— 營養の不足—酒—精力增進法

（ミツワ文庫□□—一）

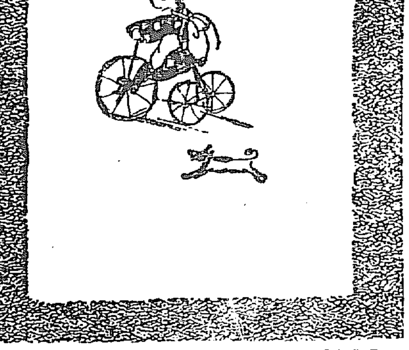
▲誰でも生きて 居る間は何か知らん絶えず仕事をして居るもので例へば物を言つたり聽いたり讀書するとか手仕事するとか或は考へ事をしたり何事かに注意したりして居る而して是等の仕事をする場合には口や眼を動かすとか手足を動かすとか身體に種々樣々の變化を起すものであるが物事を考へると云ふやうな仕事をする際には身體に何んな變化が起るか一寸目で見ることが出來ない然し此の場合には腦の變化の起ることは確で餘り深く考へ込むと頭内に壓されるやうな感覺が起つて甚だしきに到つては頭痛を催すやうになる。それから人が

▲手足を動かす と云ふやうな所謂器械的の仕事は手足の筋肉だけで出來ると云ふのは間違で手足を動かすには其の動かせるだけの刺戟が腦から筋肉に傳はらなければならない一寸手足を動かすと云ふやうな日常平凡の仕事でも之を行ふ爲めには斯く腦や脊髓、神經や筋肉が皆相協同して働かねばならぬので手足を動かす如き身體的勞働と云つても矢張り精神に關係しまた精神的勞働と稱へてもそれが身體に關係することは言ふまでもない。それで身體的勞働は勿論のこと精神的勞働に於ても筋肉の疲勞を來し疲勞するに從つて所謂

▲精力が減退し 仕事することが出來なくなるのである。一體疲勞は休養すれば恢復さるものであるが若し疲勞しても顧みずに無理に仕事を續けて居ると疲勞を通り越して過勞が現はれて來る此の過勞即ち過度の疲勞は健康と病との境界とでも云ふやうな狀態で、細かな仕事や速くやる仕事は出來なくなり縱令出來ても甚だ拙くなり或は睡くても眠られぬやうになり或は其の反對に睡くていくら眠つても尚眠られるやうになり身體は打たれたやうで痛く綿のやうになり胃や腸も同樣に力が脱けるから消化が不良となり心持は亢ぶり脈搏は不整となり

▲營養が不足しても年を取つても病氣などで衰弱しても其の他疼痛とか不安とか憂慮とか忿怒とか總て精神の作用を妨げるやうなことや暑熱や濕氣を多く含んだ空氣などの爲めに呼吸や血行を害ふことや姙娠したり乳を授けたりして絶えず體力を費すことなどは何れも精力を減し弱らせるものである。又

▲疲勞したとき酒 を飲むと一時疲勞の感覺を麻痺するから暫くの間だけ精力が强くなつたやうに感じて一時强くなつた精力も直に弱るものである。それでは精神や身體の疲勞を癒し且つ精力を增すには如何にしたら宜からうかそれには品質優良で刺戟の無いミツワ石鹸を以て入浴して身體を清潔にし血行を促し且つ精神を爽快にし十分の休養と不足なき睡眠をなし此のミツワ人參錠を服むに限る誰でも此のミツワ人參錠を用ひて居



ると精力の減退を逞ぐから仕事が早く出來何の苦もなく長い時間働ける例へば執務、讀書、勉學などの際に之を服めば直に

▲頭腦明晰となり 其の仕事に對して勇往邁進することが出來る又種々の勞働或は長途の步行などの折之を用ふると忽ち元氣が盛んになつて其の勞働なり步行なりを何時までも永く續けることが出來る元來人參は數千年の昔支那の醫聖が之を靈藥として世に傳へてから支那のみならず日本でも盛んに賞用して德川時代には人參座と云ふものを設けて人參の賣買を取扱はさせ其の普及に努めたほどである。其の後追々西洋の醫術が輸入されるに從ひ漸々漢方の醫術は廢れ如何なる良藥があつても漢藥と名がつけば一概に無効のものと定めて一向顧みられぬやうになつた是は如何にも理に合はぬことで人情の輕薄と學者の不熱心とを現はすことではなからうか然し近頃篤實な學者が相踵いで人參の研究に從事し本店試驗部に於ても多數の學理的實驗と臨牀的研究とを施して遂に人參が神經衰弱、ヒステリー、腦貧血、腦充血、脊髓炎、老衰、貧血、營養不良、精力減退等に卓効のあることを知り得たが無論良種でないと効がなく又精製の方法が當を得ないと一向利かない。然るにミツワ人參錠は種類多き人參の中から品質最も優秀なものを選び而かも最新の學理に照して之を精製し錠劑と爲したもので人參のあらゆる有効成分の遺漏なく含んで居るから或は粹るとか煎じるとか煩しい手數を省き携帶として携帶するにも頗る便利である。されば精力の減るのを防ぎ前に擧げた神經衰弱、ヒステリー等を治すには此ミツワ人參錠を連續服用するのが最も適當である尚詳しく効能や用法を知らうと云ふには夫々に添へてある說明書に述べてある、又郵券五錢を送られば家庭治療法といふ書物を送る之には各病の原因病狀療法等詳しく說明してある。元來ミツワ家庭藥は需要者の本位で廉く、從つて取次の口が少いけれど勉强する店舖では請賣して居る、若し最寄に取次店が無かつたらミツワ石鹸、御園白粉發賣元東京日本橋橘町丸見屋商店へ直接注文あれ。又近頃ミツワ家庭藥の需要者が非常に多くなつた爲ミツワ人參錠を始としミツワ家庭藥の各種に類似した賣藥が續々出て來たから求める、際にはミツワの商標とミツワの文字に能々注意あれ。

婦人病の療法

婦人病のある人は身體の安靜にして滋養に富み淡泊とした食物を攝りコッソリ緩下劑を服んで便通を適宜くし身體各部殊に陰部を清潔にせねばならぬ身體を清潔にするには熱のなき限り毎日入浴して刺戟の無い良好な石鹸即ちミツワ石鹸を溶けて洗ふのである陰部の清潔法は[illegible]ミツワガートルと云ふ器械を以て洗滌するので[illegible]外用藥と內服藥とを並用しなければならぬ即ちミツワ婦人湯藥を內服するのである本劑は婦人の日常生活に於ける肉體的並に精神的の異常を豫防或は治癒せしめるもので婦人の罹り易い病即ちヒステリー、頭痛、腦病、貧血、月經不順等には本劑を用ふるに限るのであるミツワ婦人湯藥八十錠入五十錢

最上醤油　朝鮮仁川港　高杉醤油醸造場

新龍山三角地の むしぶろ　どんな病にも能く効く必ず一度御試めしなさい

京城壽座前 太平堂名刺舗 電話二七二二 振替三三六七 地方は郵送料不要

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て神戶切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　漢城丸 十一月廿二日 午後五時／仙頭丸 十一月廿六日 午後出帆／溫州丸 十一月三十日 午後出帆
×○木浦、釜山、長崎行（▲は群山寄港）　×安東丸 十一月廿四日 午後二時／▲天智丸 十二月三日 午後出帆
××○鎭南浦、大連行　安東丸 十一月五日 午後二時／天智丸 十一月廿八日 午後出帆
○○木浦神戶大阪行　蘇州丸 十一月 日 午後五時
○△△群山、釜山、横濱行　千珠丸 十一月廿六日 午後四時／チヨイサン丸 十二月八日 午後出帆
△△大連直行　千珠丸 十一月廿二日 正午出帆／チヨイサン丸 十二月二日
○清津、浦潮行（元山出帆）▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港　久宮丸 十一月廿八日／宮丸 十二月七日 午後三時出帆／城津丸 十一月廿三日
▲基隆、打狗行（大連出帆）　上海丸 十二月四日／北隆丸 十一月四日 午前十時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及滿洲鐵道全線と連絡切符發賣仕候 ○乘船客は本船出帆約一時間前迄御乘船相成度候 ○×印は一等客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

朝鮮郵船

京城支店 出張所、代理店 松原運送店
全羅丸 十一月廿四日／京畿丸 十二月四日／黄海丸 十一月八日／咸鏡丸 十一月廿八日 釜山發
穩城丸 十一月廿九日／昌平丸 十一月廿三日／鏡城丸 十一月廿五日 元山發
平壤丸 十一月廿七日 元山發／忠淸丸 十一月五日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 十一月廿七日 釜山發
江陵丸 毎日 釜山發
三浦丸 十一月廿二日 釜山發
海州丸、巨濟丸、慶興丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 十一月廿八日 木浦發
公州丸 十一月廿三日 木浦發
公州丸 十一月廿六日 木浦發
宗信丸 十一月廿六日 仁川發
江原丸 十一月 日 仁川發
肥後丸、水州丸 十一月廿七日、十一月廿二日 仁川發
全南丸、羅陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 十一月十九日、十一月六日 群山發、若松發

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行　三河丸 十二月一日 午前六時出帆
○大連、太沽行　高砂丸 十一月廿三日 正午出帆／相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川港町一丁目 堀回漕部 電話十一番

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　小倉丸 十二月十四日 午後五時出帆
○元山城津浦鹽行　小倉丸 十二月二日 午後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　立神丸 十一月卅日 午後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　立神丸 十二月九日 午後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸 十二月一日 午後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸 十一月廿三日 午後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　大貝丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
大池廻漕部

阿波共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行　共同丸 十一月 日 午後二時出帆
西朝鮮沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸 十一月 日 前八時出帆
（元山出帆）城津、清津、浦鹽行　第一阪鶴丸 十一月 日 後九時出港
阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店 山下回漕部　元山代理店 田口回漕部　京城取次店 大門通 河村運送店

汽車發着 [illegible]

京城日報
第三版
二十三日朝刊 (第二千九百五十一號)

東京より

○今上陛下御一代一度の御即位式及び大嘗祭も目出度相濟み、龍顏益々御麗しく渡らせられ給ふと承り、誠に恐悦至極に奉存候。

○特に日本臣民が今回の御慶事によりて皇室に對し奉つる忠愛至情の國民性を遺憾なく發揮し外人をして驚歎措かざらしめ日本が今日の如く國力發展したる所以決して偶然にあらざるを首肯せしめたりと云ふも敢て怪しむに足らず候

○日本國民と皇室との關係は分家と本家の關係にして名義は君臣なれども實は血族的一家に御座候。相吾等は陛下を其の家長として奉戴し居るものに候。故に皇室の御繁榮は即ち國民の幸福、國民の幸福は即ち皇室の御繁榮にして夫の朝薬暮讚を主義として還へば則ち君臣となり合はざれば則ち仇讐となる革命國民とは其の根本的組織に於て全然相違致居り候。

○茲で今上御即位式の勅語を拜讀するに爾臣民世々相繼ぎ忠實公に奉じ義は君臣にして情は猶ほ父子のごとく以て萬邦無比の國體を成せりと宣ひ給へり。世界に立君國多々あれど斯くの如く難有き勅語を拜し得るものは日本國民の外決して他に無之候

○又同勅語に朕は爾臣民の忠誠其の分を守り勵精其の業に從ひ以て皇運を扶翼するを知る庶幾くば心を同じくし力を戮せ倍々國光を顯揚せんことを宣ひ給へり、拜讀するもの誰か感激して國家の爲め粉骨碎身を願はざるものあらん耶。

○大隈首相が七千萬の臣民に代はり獻奏したる壽詞にも臣等夙夜勤勉力を竭せ心を同くし忠藎の節を勵し報效の誠を竭し以て聖旨に答へ奉らんことを誓ふと有之候。此の同心戮力は即ち擧國一致に候。

○今や日本は幸ひに陛下の稜威により國民泰平に醉ふ姿と相成り居候へども歐洲の戰況次第と支那問題の成行如何によつては何時干戈を揣ふて起たざる可からざるやも難測場合に有之候間、吾等は蝸牛角上に區々たる爭論をなすを休めて擧國一致共に國家の忠僕となり發憤努力聖旨の萬分一に答へ奉らんことを切望致候。

○御大典目出度相濟み內閣も愈よ東京に歸へり候政界之より活氣を呈し、勝さに來るべき議會には定めて面白き活劇これ有るべしと今より傍を樂み居候早々

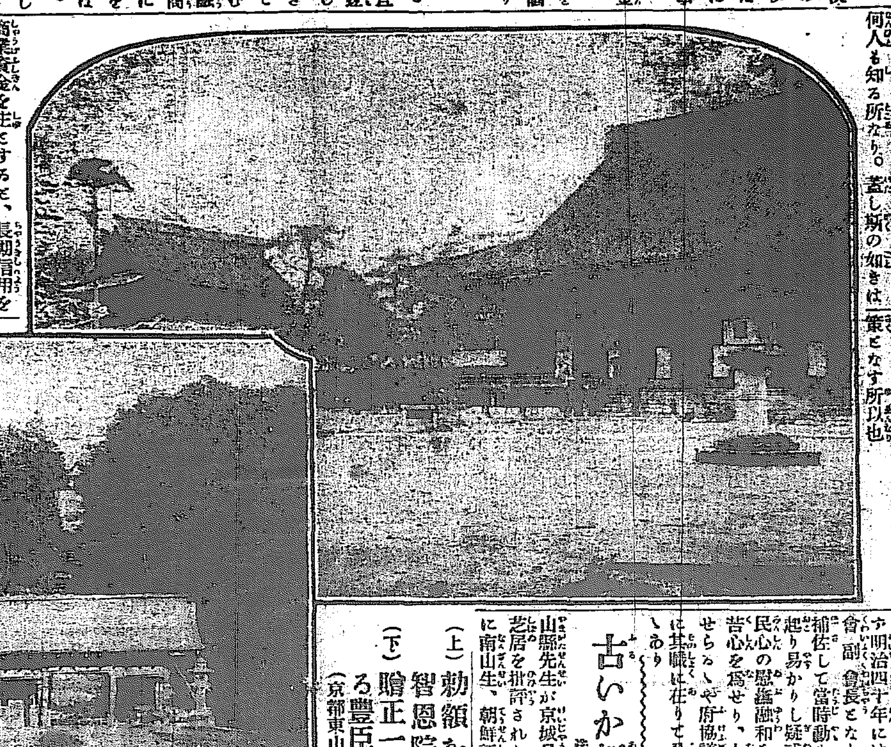
朝鮮銀行の使命(二)

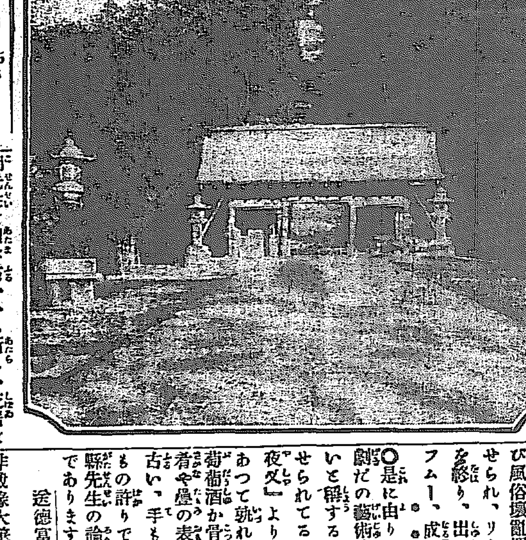
商業放資と拓殖放資 兩者兼營は不可なり

滿蒙の開發は金融機關の整備に俟つこと頗る大なるは既に述ぶる所の如し。而して之が開發の使命を帶びて設立せらるべき金融機關の任務は多々有るべしと雖、要するに一面に於ては農業、工業、鑛山業、鐵道事業に對する資金の供給に當り、又一面に在りては滿洲に於ける商業資金の流通を圓滑ならしめ、同時に統一せる通貨の供給を計るの二大項目を以て主眼とすべし。而して此の二個の任務たるや、其の性質互に相異り即ち前者は拓殖銀行の任務に屬し、後者は商業銀行の任務に屬す。滿蒙開發の爲めに金融機關にして既に右の如く其任務に兩面あり、且つ其の性質相異なれりとすれば、茲に生じ來る問題は、一個の銀行をして此の二大業務を併せ營ましむべきや、將又二個の銀行を併立せしめて夫々異りたる方面の業務に當らしむべきかに在り。惟ふに、均しく金融業務と稱するも、拓殖放資業務と商業放資業務とは、其の信用の基礎に於て相異なるものある以上は、之を別個の銀行に委するを可とすべきは銀行政策上自然の論理なるべし。

論者或は言はむ、一個の銀行をして是等二方面の業務を兼營せしむるとするも、截然兩者の區別を畫し、商業資金に對しては銀行券の發行に依り、拓殖放資に對しては別に債券の發行に依りて經營せしめ、彼此混同を許さざる事を規定するに於ては必ずしも別個の銀行に分任せしむるの要なしと。然れども、右の如き議論に對しては、未だ吾人の直ちに贊する能はざる所にして、各國の殖民地銀行制度を通觀するも、發行銀行にして不動產抵當貸付等の長期放資を兼營するもの極めて尠く、會々少數の銀行が兩者を兼營するあるを見ると雖も、其の抵當貸付部は極めて不振の狀態にあるを常とすることは彼の獨逸銀行の實例に徵しても之を知るべし。

一銀行にして商業資金と拓殖資金の兩者を兼營して滿足なる成績を擧ぐるの困難事たるの例は、必ずしも外國に求めずとも、近くは現に我が正金銀行の滿洲に於ける特別貸付が今日に至るも尙ほ停滯不振の域を脱し得ず、在滿邦人をして常に不滿の歎聲を發せしめつゝあるが如き、何人も知る所なり。蓋し斯の如きは、商業資金を主とすると、長期信用を主とすると、其間自ら業務經營の方針を異にせざる可らざるは勿論、銀行の經營者に非凡の材幹を得れば格別として、左もなくば孰れか一方に偏するの免るべからざる所たると同時に、他方に於ては、債券の發行により資金を吸收するは、彼の銀行券の發行によりて資金を得ると其難易同日の論に非ざればなり。水の低きに從ふが如く、難きを措て易きに就くの傾向は人性の自然にして、亦弱點の存する所たり。從て債券の發行により營まるべき長期の貸付が必ずしも故意に出でずして動もすれば閑却せらるゝに至るは避け難しと謂はざる可らず、此の事情を無視して強て一銀行をして兩者を兼營せしむるの理由は、吾人之を發見するに苦しむ。是れ吾人が發行銀行と拓殖銀行とを併立せしめ、前者をして銀行券の發行により專ら短期商業資金の放出並に通貨の調節に當らしめ、後者をして債券の發行により長期拓殖的貸付に當らしむるを以て正當の策となす所以也





(上) 勅額を賜りたる智恩院
(下) 贈正一位を賜りたる豐臣秀吉の墳墓(京都東山阿彌陀ヶ峰にあり)

功勞表彰(十)

金融業 京畿道 趙鎭泰

資性溫厚篤實、平素公共事業に心を傾け實業家として德望最も高く各種の產業組合又は會社等の設立に際しては殆んど發起の一人に數へられざる無く朝鮮の企業は一として同氏努力の餘に成らざる者なき狀態に在り金融に對する功績を聞くに氏は明治三十二年天一銀行の設立を企圖し其創設成るに及び重役に就任し當時幼稚なる銀行に在りて專心行務の刷新組織の改善に努力すること尠からず明治三十六年漢城共同倉庫會社長及び漢城手形組合長を兼掌し功績見る可きもの多し、同四十一年漢城銀行監事及び東洋拓殖株式會社監事に、同四十四年漢湖農工銀行理事に、同四十五年朝鮮商業銀行長に就任し留任今日に至る。斯の如く多年の間輔佐して當時動もすれば內鮮人間に起り易かりし疑惑嫉視の調停に努め各種事業の牛耳を取り其貢獻頗る偉大にして功勞最も顯著なりとす

又氏は實業界に衆望を荷ふ而已ならず明治四十一年には推されて漢城府民會副會長となり、會長兪吉濬氏を補佐して民心の歸嚮融和を圖るに尠からざる苦心を爲せり、大正三年府制の施行せらるゝや府協議員に選任せられ現に其職に在りて公共事業に參與しつゝあり

古いか新しいか

法學士 工藤忠輔

山縣先生が京城日報紙上で藝術座の芝居を批評されたのに對して同紙上に南山生、朝鮮新聞に二三の人が鼎湖先生は頭が古いから新しい芝居は解らないのだといふ駁論が出る、之に亦た山縣先生が葡萄酒は古いほど好い芝居だつて新しいの許りは無いといふ說が出た、乾燥しきつた京城の氣圍氣の中に此の樣な趣味多き議論を聞くのは誠に喜ばしい、吾輩も亦芝居好、豈一言なくして可ならんやである

○併し我輩は法律家である飽迄事實を尊重して定理定論に涉るを避けなければならぬ、議論に入るに先だつて一應事實即ち論爭の目的となつて居る新現代的の新劇術ノラ、マクダ、カチューシャ、サロメの四人の被告が新しいか古いかといふ事實を明にする爲證人を喚問する事にした

○第一『ノラ』一名『人形の家』著者ヂャルネ事ヘンリック、イブセン、文政十年生、大隈伯より約十年も早生れだな、そして『ノラ』の著作及び興行は、明治十一年の初興行、大分古いな

○第二『カチューシャ』事『復活』著者伯爵レオ、トルストイ、ハ、ー第一證人イブセンと同年生れ、成程して其の『ノラ』の著作及び興行は、明治十四年、三十五年前だと、之れも大分古いな

○次はマクダの著者『ヘルマン、ズーデルマン』安政四年の獨逸生れ、マクダ本名『ハイマート』の上場は明治廿六年、巴里でサラベルナールに出演さしたのが明治卅年、約二十年前と、成程之も古い

○次サロメ著者『オスカール、ワイルド』前に出ろ、何、オスカール、フィンゴール、オフラヘルチー、ウイルス、ワイルドだと大變長い名だな、安政三年生れ、そして證人は前科者だな、明治二十六年佛蘭西語を以てサロメを著し巴里でサラーベルナール孃に演じさせましたと、さうしてベルナル孃は今年何歲になる、何んだ天保十四年、豪い萬年娘もあつたもんだな

そして、友人ドーグラス男が之を英語に譯しましたら忽ち英國政府から興業を禁止されました、クイーンベリー侯から告訴されまして、誹毀及び風俗壞亂罪に問はれ懲役二年に處せられ、リーデング監獄に於て服役を終り、出獄後巴里に居ました、フムー、成程、證人訊問終り

○是に由りて之を觀れば日本の現代劇だの藝術座だの社會劇だのと新しいと稱する芝居は皆日本の古いと稱せられてる『不如歸』『乳姉妹』『金色夜叉』よりもずつと古いもの許りであつて孰れも皆二十年以上を經過し葡萄酒か骨董、南瓜ならば兎に角、着や疊の表乃至芝居としては古いも古い、手も付けられぬ古色蒼然たるもの許りであつて、我輩は事實上山縣先生の論に贊成せざるを得ないのであります

送德富蘇峰先生遊金剛山

豐村 成島淑士

非載椽大筆。何顏對名山。有山莅東海。分爲萬二千。矗矗皆骨立。似玉筍參天。開說混沌代。鬼斧一夜刪。巖層又洞壑。萬瀑奪心肝。雲宮與霧窟。目眩褆幻間。更見東海水。洶湧動我前。日出與月出。圓圓蘸水天。時維秋九月。蘇翁試登攀。古來文墨客。幾千篇。不如翁筆力。雄渾捲雲煙。收拾無所剩。偉觀天下傳。

金剛山次蘇峰先生高韻

懸崖將墜又飛揚。高柱擎天似劍鋩。造化彫鏤何巧妙。看來乃是大文章。白雲低處有方壺。路入洞門忽有無。藏斷石梁練萬匹。寫出鮫人宮裡圖。織女浚梭紅又黃。夕陽秋色古金剛。休言裸裸皆是骨。滿嶽化爲錦繡場。

▲廣告▼

獨學 書法眞詮

全一冊 特價七十錢

本書は我書法研究會講師海岡金圭鎭氏の著術せる學書者の寶鑑なり執筆運筆、點畫法、楷、行、草、篆、隷、八分、各體を一々圖解說明し令弟醫學士金台鎭氏は日本文にて翻譯し內地學者の便利を計れり

發行所 京城長谷川町 古今書館
分賣所 平壤水玉洞 會員尹箕城 白箕湾 眞館

襲來

防寒の御用意は出來ましたか
流行のショール帽子實用向メリヤス其他の防寒洋品の御用命は是非安賣の定評ある當店へ!
○地方よりの御注文は引替便にて敏速確實に御送附可申上候

京城元町二丁目 電話龍山一六五
山口洋品店

朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著

朝鮮語會話

特價 金七拾錢 (但前金に限る郵稅申受候)

●新刊大好評●

袖珍三百二十餘頁定價金八拾錢(郵稅六錢)

發賣以來好評嘖々、日未だ淺きにも拘らず、破天荒の賣高を示したる本書は朝鮮語修習上害ありて益なき一切の不必要物を除去し、見掛上の體裁を避けて紙數の膨大を防ぎ、繁に堪へざる單語羅列式の死文字を滅却せり。又彼の言語を學ぶ者の最も困難とする動詞其の他の說明の如き、解釋簡に肖りて餘す所なく、一度本書を手にすれば、言葉の應用自由自在にして、所謂『きつばり』とした語を學ぶを得べし。而して初學の人士の爲めには巧妙に發音假名を附したるを以つて、世の徒に無駄骨折るここ多年、苦心慘憺、漸くにして不自然的なる發音にして、多少の語句を暗記するの愚を避くるを得べし、既に本書の價値は世に定れる評あり。斯道の人士の切に學ばんと欲する朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし、敢て江湖に勸む速に本書を求められよ

發行所 京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局及書肆

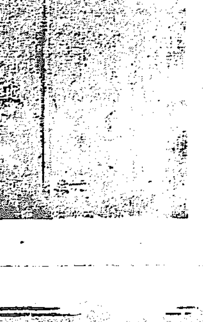
新案記念

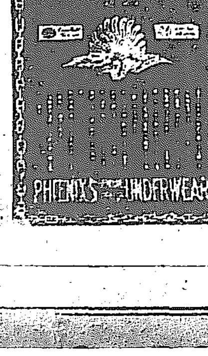
兩陛下額軸

○奉寫荷葉黒田淸輝氏監修御厚色立像 ○二十九度刷特製緞子金軸 ○上製更紗紙塗軸 特價壹圓參拾五錢 七拾五錢
○各郵送料八錢 臺灣廿錢 朝鮮卅錢 ○取次販賣最も有利 見本は卅錢
○東京淀橋町 東光園 電話番町二七七四 振替東京七三三四

莫大小界の發展

我莫大小界の發展は近來著しく進步し當地にても年々ラキト式舶來品を引き販賣せし所 今回大阪鳳凰印メリヤス製造所にて賣出したるシャツは品質舶來品以上にして實用に適し且進物用として優美なれば大好評を博し賣行盛なり尙鳳凰印シャツは各地にても有名なる商店にも販賣し顧客の便を計り居





京城本町三	電話三五〇	森久商店
同 本町二	電話六九一	平田商店
仁川本町四	電話一一五	鈴木商店
平壤大和町	電話二五番	丸京屋
釜山本町二	電話八〇二	近江屋支店
釜山大廳町	電話三四八	田治商店
釜山大廳町	電話七六八	近藤商店

▲後場氣配 …… ▲高値 ▲安値 ▲引値 …… 一二〇、四〇 一二一、〇〇 一二〇、〇〇 一一七、〇〇 …… 一二〇、三〇 一二一、二〇 一二一、一〇 一一七、四〇 …… ▲二十二日後場 寄付 高値 安値 止め …… 出來高 一萬四千百五十石

◎聖上京都へ還幸（京都特電）

伊勢神宮に御親謁の爲め山田に行幸の 陛下には廿二日午後一時半京都に還幸京都府下に於ける農產物工藝品を天覽あらせられたり

御大典より歸りて

□神聖と莊嚴 李咸南道長官謹話

今回の御大典に參列した吾々は實に一代の光榮のみならず一家一門の光榮である御大典の前日までは大雨であつたが御式典當日には綺麗に晴れ渡り連日の儀式中些の不祥事もなかつた事は洵に御芽出度い次第で之も御聖德の致す處であらうと參列者は勿論日本國民が何人も益御稜威のかしこきを辭かぬものはなかつた殊に大嘗祭の御儀は夜中に行はせられたが恐れ多くも 聖上には何事も御とゞこほりなく御儀式を終らせ給ふた事は之れ亦た實に御芽出度い次第だ參列者一同は唯沈默、唯靜謐に此の盛儀を拜觀したが御儀は頗る神聖莊嚴なもので吾々が兎や角申上る事さへ恐れ多い次第である

□素朴の極致 森安醫學博士謹話

素朴は太古に於て常態であつたのだらうが今日餘りに複雜になつてしまつた眼から見れば其簡素純朴な處に言ふに言はれぬ意味深いものがある素朴の極は崇嚴である即位の御大典に設備はれた建築物が如何に我々に神々しい崇嚴敬畏の念を惹起せしめ得たかは言語に絶する思ふに今後富豪等が贅を盡した建物を建て庭園を築くに當つて徒らに絢爛眩めき洋風煉瓦建などに意匠を凝らす事をやめて必ずや御大典によつて示された杉丸太の柱に茅の屋根、就垣と言ふ樣な純朴な風を模倣するに至るであらうと思ふ其道には全くの門外漢であるが不圖さう思はれた話は別だが茲に最も殘念でならない事が一つある其れは大饗に參列した時御膳部に置かれてあつた御饌である土器に盛られた小さなものであつたが私は半分を頂戴して半分は殘して來たのだ後で聞けば其れこそは全國の齋田で特に準備せられたもので一粒六厘に相當する貴重な御饌であつたのだ相だ干餅にして置けばいつ迄も記念として保存も出來何處迄も持參もされるのにと今更乍ら殘念でならぬ否思へば其樣な事で殘念でならない事が澤山ある

□森嚴を極む 鎭海灣防備隊司令官 山口海軍少將謹話

私は御即位式と十七日の大饗第二日の夜宴に參列するの光榮を荷ひ一身一家の冥加と無上の皇恩の難有さ感泣の外はない御即位式の森嚴なる大饗の華麗なる言葉の及ぶ所ではない御即位式では高御座の下で首相の奏上した壽詞は音吐朗々として冴え渡るのみであつた此の神嚴な御式中に有つて獨り衆議院議員席のみ私語する者又は私かにオペラグラスを取り出して高御座の方を拜觀したとか云ふ事だけれども是れは事實の有無は知らなかつたが首相が壽詞を奏し終つて南階を下り萬歳旛の前に進んで萬歳を奏せんとし衆議院議員の列前を通過せる時議員の內で俄に容儀を改め首相に對して敬禮を行つた者があつた物の響きは衣摺れの音さへ聞え髪の毛一筋の搖ぎさへ目に立つ程の森嚴なる場所柄とて特に目立つて見えた十四日の御大嘗祭の御儀の跡を拜觀するに參列した臣下の腰掛けは鉇を心にして布を張つてあつたけれど皇族方の御掛けの御椅子は古風の竹椅子に藁の圓座を敷かれたのみで一夜を凌がれたのを思へば當夜の參列者が徹夜の苦痛を訴へるなどは畏き極みであると云はなければならぬと思ふ

◎帝政決定は數日內 地方の國體投票の全部終了

國體投票は中央選擧會を除き其の他全部二十一日を以て終了せり中央選擧會も來二十五日頃擧行の筈なれば此處數日中に君主立憲袁皇帝推戴は擧國一致の名を以て事實上の決定を見る次第なり（北京特電）

◎佛國特使の使命重大 希臘前首相の聯合軍勝利確信

雅典來電に據れば佛國特使デニスコチン氏の使命は最も重大なるものにして氏はスクルノデス氏と三回の會見を遂げ且つヴエネゼロース氏をも訪問せり、ヴエネゼロース氏はデニスコチン氏に對し聯合軍の最後の勝利を確信する旨を陳べデニスコチン氏は希臘國民の佛國に對する好意を感謝せり（倫敦電報）

◎神嘗祭日不休

去九月內閣告示を以て公示したる如く二十三日は神嘗祭當日なるも皇室祭祀令第十七條に依り同祭は大嘗祭を行ふ年には之れを行はずとあるより本年に限り當日は休日にあらず（東京特電）

◎皇后御產氣近し

皇后陛下には御臨月一日と近づきたるまゝ青山御所御南殿に籠らせられ給ひたり御安產の御紐を解かせらるゝも御間近の由漏れ承はる（東京特電）

◎李王世子入學

李王世子殿下には去六月士官候補生として近衛步兵第二聯隊に御入隊一般候補生と同樣軍務に御從事あらせられつゝあるが來る二十八日を以て隊附勤務を御修了と同時に士官學校步兵科へ御入學なさるゝ由（東京特電）

◎繪卷書拜寫命下

大典繪卷書は猪飼、鷹取兩畫伯に拜寫を命ぜらる（京都特電）

◎同志會政策 變更起草協議

同志會にては二十二日午前十時より本部に最高幹部會を開き武富、河野、箕浦の各相加藤總理若槻安達の諸氏出席政策變更大會宣言起草に關し協議を遂げたるが大會宣言は前回の分と全く趣を異にせるものゝ如し輙ち財政狀態の變化及び外交の變化を見たる今日に於ては翌日の儘の政策を踏襲し難き事情あるを以て全部の更改を餘儀なくせられ特に近時の重大問題となりつゝある減債基金に就ては根本的改革を要するものとし減債の如き姑息の手段に滿足する能はず非募債主義に就ても多少の考慮をなせりといふ（東京特電）

◎兩皇子御入洛

淳宮高松の兩宮殿下には廿二日午後三時二十分御入洛二條離宮に入らせられたり（京都特電）

◎豫算案の提出 開院式の當日

日本政府にては帝國議會の開期を十二月上旬に早めし趣旨を重んじ卅七議會に對しても明年度一般會計及び特別會計豫算案をも一括して十二月一日の開院式當日衆議院に提出すべし（東京特電）

◎裏松子爵補選擧

二十二日午後貴族院議員裏松子爵の補缺選擧を施行せし結果子爵京極高義氏大多數を以て當選し尙ほ同氏は即日硏究會に入會せり（東京特電）

◎井呂丸船主談

井呂丸船主井口糸吉氏二十一日夜門司經由長崎に行き近江丸にて上海に向ふ其の談に井呂丸は軍需禁制品を積み居る筈なく十六日船體檢査を終へたる筈なり（門司特電）

◎飛機豫行演習

十二月二日青山練兵場に於て擧行さるべき大觀兵式に參加すべき航空隊計畫に參加飛行機は全部十臺と決し飛行船雄飛號には增田少佐岩本技師搭乘し當日午前八時を期し岡大尉の操縱せる二十二號機を先頭にして各機は約五分乃至十分宛の間隔を措きて所澤を出發し單陣形をなして威風堂々帝都の空を差して進發し觀兵式場の天空を數周し畏くも 陛下の天覽を賜はりたる上機首を返して直ちに歸陸する豫定にて三十日參加飛行機十臺は全部青山練兵場に飛翔して飛行演習を爲すべしといふ（東京特電）

◎貯金局長後任

御大禮の爲め任命延引したる下村貯金局長の後任には既報の如く坂野西部遞信局長近々任命せられ同氏の後任には中川管船局監理課長榮轉の事に內定せり（東京特電）

◎空前の出來高

北濱空前の出來高にて二十二日商內高二十五萬株の新記錄を造れり成金續出す（大阪特電）

◎下村民政長官

下村臺灣民政長官二十二日午前郵船備後丸にて臺灣より門司寄港同日午後出帆海路神戶へ向へり（門司特電）

雜報

◎寺內總督消息

寺內總督は二十一日夜東京麻布區笄町の自邸に入る旨池邊秘書官より電報ありたり因みに總督は大觀兵式其他宮中の御祝式に參列し議會關係の要務を了したる上來月中旬歸任すべしと

◎總務局長代理

大禮使事務官として御大典參列の爲め東上中の兒玉總務局長は引續き議會に關する要務を以て滯京し政府委員と爲る由にて二十二日より不在中は小松樞府翰長事務を視る可しと

◎常備艦隊 新編成の 第三艦隊の勢力大に增加す

來月を以て編成替となるべき帝國海軍常備艦隊の編成に就ては大體既電の如くなるが在來帝國海軍の第一艦隊は主として本邦附近に第二艦隊は本邦西岸及び朝鮮附近に第三艦隊は南支方面に在り司令長官指揮の下に演習訓練に從事し來り第一第二兩艦隊の勢力大なるに比し第三艦隊は頗る劣勢なりし爲め一朝何事か勃發するや其必要に應じ他艦の編入をなし來りしも近時同艦隊の任務擴大されしと教育訓練の關係より同勢力に增大の必要起り過般來當局者に於て調査研究中の所今回愈々一箇の成案脱稿し十二月四日擧行の大觀艦式後實施する事に決したる由にて其の內容は素より詳報するを得ざるも第三艦隊の勢力を增加し以て比較的三常備艦隊勢力の隔絕なからしむる事とし第一艦隊には新艦扶桑河內攝津安藝等の戰艦を以てし第二艦隊には新巡洋戰艦榛名霧島金剛比叡等を編入し第三艦隊には南支方面警備の關係等より從來の二等巡洋艦對馬明石平戶の外同級艦又は二等海防艦等を以て之に充て同艦隊の勢力を圖ると共に在來同艦隊の統率者は司令官にして必要に應じ參謀長を設くることゝなし居りしを司令長官に改め其の指揮下に司令官及幕僚即ち參謀長參謀副官等を新設し平時に在りては其の一部隊を南支方面に派遣して警備の任に當らしめ他は本邦附近に在りて教育訓練に從事するものなりと

◎朝鮮の工業界（中） 現今の生產 將來の進展

▲製造煙草 鮮人及び外人の經營に係るものは漸次衰微し內地人會々活躍せんとするの狀勢極めて顯著なりし即ち大正二年に於ては東亞煙草會社の工場新設ハ朝鮮煙草會社の創立其他各地に於ける個人經營事業の擴張等に依り大正元年に比し一躍四十四萬圓を激增して總產額五百七萬餘圓を算したるが大正三年中に於ては更に廣江商會の工場擴張其他生產增加の趨勢見る可きものありしに拘らず比較的力を安價なる品種の生產に鑑したるが爲價格に於ては四百六十九萬圓に止まれり、然れども朝鮮產製造煙草は常業者の活躍に依り近來支那方面に於て漸次其販路を擴張するに至りたれば將來益々其生產を增加するや必せり

▲窯業製品 土管、瓦、煉瓦の產額最も多く總產額の半を占め今や鮮內に於ける需要を充たすに足らむとす、之れに次ぐは陶磁器にして其他硝子及び石灰等亦多少の生產あり、硝子は大正三年末に於ける產額五萬圓にして製造戶數亦九戶に過ぎざるも鮮內の原料は頗る優秀且つ極めて豐饒なるを以て將來著しき進展を見るに至る可し

▲金屬製品 鐵器の製造は年々增加し來れるも眞鍮器の使用は漸く陶磁器に推移せんとするの傾向あり要するに金屬製品の產額は顯著なる增進を示さゞるも鐵鑄物、及物、錻力細工品等の需要は益々增加の趨勢に在るを以て之れ亦將來有望なる工業の一に數ふるを得べし

▲皮革及其製品 本品に對する需要は各方面に亙りて益々增加せむとするに當り原料の豐富なる朝鮮に於て本業の有望なるは言を俟たざる所にして明治四十五年朝鮮皮革株式會社が大資本を擁し整備せる工場組織を以て其事業を開始し、爾來良好なる成績を擧げつゝあるは即ち其實證たらずんばあらず、又個人經營のものに在りても逐年其事業を擴張せるが殊に洋靴の製造は顯著なる發展を見產額の增加見る可きものあり大正三年中に於ける本品の生產額は皮革六十九萬圓、洋靴六十五萬圓、朝鮮草鞋二十八萬圓を算せり

◎滿洲行貨物輸送狀況

鐵道局調査に依る十月中に於ける滿洲行貨物輸送狀況を聞くに左の如し

			前年の比
院線發	南滿線著	二、二九九	八割七分增
	東淸線著	八九〇	同 八、六同
	合計	三、一一九	同 八、七同
局線發	南滿線著	一、九〇六	同 八、七同
	東淸線著	九一	同 六、五同
	合計	一、九九七	同 六、七同
總計		五、一一六	同 三、三同

今院局線發各別輸送狀況を見るに

一、院線發滿洲行貨物は南滿線及び東淸線著共輸送非常に好況にして兩線著數量三、一一九噸は前年に比し一、四四九噸（八割七分）を增加し輸送旺盛なりし前月よりも更に百十二噸（四分）の增加を示せり是は滿洲市場が歐洲戰亂突發以來久しく同方面よりの供給を缺き又日貨排斥により本邦品の輸入著しく減退し市場在貨の拂底を告げたる折柄需要期に際したる爲紋上の如き反動的增加を爲したるものなるべし輸送品種の主要なるものは綿糸布にして之か輸送成績を見るに次の如し

			前年の比
綿系	南滿線著	二九九	八分增
	東淸線著	九	同 七割三分減
	合計	三〇八	同 一分減
總計		二、一〇一	同 五割三分增
綿布	南滿線著	一、三〇七	同 九、三增
	東淸線著	四九三	同 二、四增
	合計	一、七九三	同 六、七增

綿布一千七百九十三噸は一般輸送貨物の五割七分又綿糸三百八屯は一割を占む之を前年同月に比較せば綿系は三噸（一分）を減退せしも綿布は七百二十二噸（六割七分）を增加せり

二、局線發滿洲行貨物 米、木材、古鐵獸皮等相應の出荷ありしも輸送數量一、九九七噸にして前年同月に比較するときは三九七噸（六割七分）の減退を示せり前年同月に於て鎭南浦發本溪湖著一時的出荷の鑛石五千百七十二噸を輸送せるが故なり

要之院線發貨物は前年に比し著しき增加を示し又局線發貨物は前年の如き鑛石の大量輸送なかりしも主要貨物は商動前年に比し遙に良好にして今後滿洲特產物の出荷期に入るゝ共に一層活氣を呈するに至るべし

◎軍醫分團演習終了

既報の如く平壤に於て實施されたる軍醫分團野外作業演習は二十日を以て終了したるを以て之が統裁の爲め同地へ出張中なりし高橋第九師團軍醫部長及補助官工藤少佐は同日歸任す

◎河合弘民氏榮轉

東洋協會植民學校京城分校幹事河合弘民氏は今回東京本校幹事に榮轉し不日赴任の筈につき有志の人々申合せ記念品を贈ることゝなりたるが希望者は本月中に大和町同協會分校內仁子男時氏宛申込まれたしと

◎岡本參謀長西鮮出張

第九師團參謀長岡本大佐は開城、黃州、平壤、安州、新義州、義州に於ける各守備隊の兵器及び馬匹檢査の爲二十二日朝龍山發列車にて出發せるが歸任は十二月四日頃なるべしと

◎總監部懇親會

二十三日午後六時半より京城花月に於て元總督府諸官廳司補たりし人及び現に奏任官たる赤門出身の人々は懇親會を開催し尙道回一年志願兵として入營する現總督府理財課勤務の穗積眞六郎氏の爲め送別宴を兼ぬべしと

◎京城協贊會事務所移轉

京城協贊會は殘務整理のため二十一日限り共進會場內の事務所を撤去し二十二日より京城日本人會議所の一室に移轉し來りたり

人事消息

▲木村雄次氏（鮮銀理事） 二十二日午後七時五十分南大門發東上

▲服部憲兵大佐（咸興憲兵隊長） 廿三日發東上

▲輕村憲兵中尉（金泉憲兵分隊長） 赴任の途廿一日夜入京廿二日出發

▲大橋次郎氏（赤愛主幹） 十九日京都より歸任

京日案內

◎普通 一回前金三十錢（無割引） 三百名一回毎に金五錢增

◎求職者は來れ 市內若草町本願寺邸內 職業案內所（4）

◎被代診生雇度 不問至急雇れたし 市內地方何れを 姓名在社（52）

◎讓長 市內目拔の場所今回歸國に付至急居拔の儘讓る希望者は 京城本町一丁目 福井堂（49）

◎番外 一回前金六十錢（無割引） 一回毎に金五錢增

◎湯屋賣貸す 女小供で出來得る最も確實なる事業は湯屋に限る希望者に賣渡又は貸借す至急來談あれ 京城南山町▲原金旅館（2）

◎店員 十五才より十八才迄高等小學校卒業程度者 市內に確實保證人二名を要す希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城本町二丁目 明治屋支店（1）

恩給年金抵利長期立替有價證券買賞 當店特色現金即時取引 京城永樂町一ノ四四 淸津府明治町一丁目 總督府商品陳列館前 江州屋代理店 858

◎入用 外交員 文筆素要有る卅歲以上の男女を求む希望者は午前八時より十時迄の間履歷書携帶來談あれ 京城旭町 不知火旅館方（51）

◎實用新案堅牢椅子並に防水布 ◎監獄製火鉢格安賣出 是非共一度御來店の程願上候 洋家具專業 黃金町二丁目長橋通角 松浦京城出張所 電話二二五九番 831

內科 婦人科 難症治療 京城南山町二丁目（喜久家の下） 電話壹壹武四番 二元堂醫院 840

◎はねつき（うちみ）等一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 847

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七七番 山口屋 855

眞正 元山牛肉 特色精肉の親玉なる 開店披露の爲當分大安賣出仕候 京城本町二丁目 電話二四一五番 元山八浪精肉店出張所 870

質店 弊店は完全なる倉庫有し懇切に御取扱申候 ふとんあずかり○債券公債買受申候 本町四の一 電話一〇二三 福田屋質店 783

▲りん病ばい毒 にて困る御方は御出でなさい詳細は本月三日の京城日報を御一覽あれ 京城南大門外 ドラッグ商會 938

得意 廻員入用 年齡十八歲以上卅四歲迄身體強壯なる者採用す但保證人二名を要す 京城南大門通 大塚京城支店 933

平壤名產 玄武燒栗 生栗卸小賣 內地土產 京城旭町一丁目 元祖 玄武堂 電話取次一五七二番 918

廣告

寒氣相加り愈々鍋料理の季節と相成申候本年は特に鍋料理の飯場を廉入れ弊店獨特の鍋の寄せ如き材料も大に精選致し而も至極安値に調進可仕候間是非一度御來車御試食の程奉待候 敬白

京城旭町三丁目 鍋道樂 電話一四九番

京城學校組合告示第三三號

購買入札

一 石炭 貳百五拾壹噸

納入場所

參拾貳噸 日出小學校
參拾壹噸 南大門小學校
貳拾八噸 櫻井小學校
參拾五噸 鍾路小學校
貳拾貳噸 西大門小學校
參拾五噸 龍山小學校
貳拾七噸 元町小學校
參拾七噸 高等女學校
五噸 幼稚園
九噸 組合事務所

此入札保證金各自見積價格ノ百分ノ十以上
入札者ハ滿貳ケ年以上斷業ニ從事シ現ニ京城學校組合區域內ニ於テ國稅府稅又ハ當學校組合費年額參拾圓以上ヲ納ムル者ニ限ル
右入札心得書契約書案並ニ見本熟覽セムトスル者ハ當學校組合ニ就キ閱覽スベシ
入札ハ十一月廿五日午前十一時限リ當學校組合ニ入札スベシ即時開札ス
此契約ハ京城府尹金谷充之ヲ擔任ス

大正四年十一月廿二日 京城學校組合

東洋一實用靴

防寒用御披露 弊店製造の靴及スリッパは値段破格の安價にして堅牢なるを特色とす
一ラシャ靴防寒用 金一圓廿錢以上金一圓六十錢
一廠布靴運動用 金一圓卅錢以上金一圓八十錢
一スリッパ一式 金廿五錢以上八十錢迄
此他御注文に依り隨意調製仕可候
地方は代金引換にて迅速送荷可致候
商標（K） 京城黃金町三丁目 實用靴製造卸小賣所

有望確實 職業 年中無休

最も販路廣き新案特許家庭日用品各種の製造並販賣を開業出來收益確實多く製品は永年買受業を誓約し初め原料貸與す今回事業擴張の爲め五百名限り大特典あり明細書はハガキにて申込次第無代進呈 京都市二條通大橋東入 中川商會 貿易部 振替大阪一四五六七（電上二四七二）

瀨戶皮膚外科醫院

旭町二丁目（舊三丁目） 醫學士 瀨戶潔 診察夜九時まで （電話二四九八番）

鑛山用 水銀 新荷著 保稅品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五番二七七四番

東京發別電

▲外交研究會 加藤高明男、床次竹次郎、大岡育造……

基金復活に反對す

▲帝政と外交問責 支那は……

▲首相陞爵は愈退後 大隈首相に對する陞爵は首相勇退の際行はれんと……政府に取りては最も重大事件なるを以て廿一日外務省の往來頻繁を極め……

十月中酒類輸移入は一萬四千五百十七圓にして前月の一萬六千七百七十三圓に比し稍減少し前年同月の一萬五……

愈よ需要期に入り相當に入荷ありたるも大體の仕入は前月に終りたるもの如し前年同月に比し略同……良好なり清酒の價格正宗一樽二十四圓白鶴二十三圓菊泉二十一圓なりき

◎夾雜物步合標準……

◎銀行券發行高週報 十一月十四日より二十日に至る一週間の銀行券發行高は……

[illegible]ことを防がんとするにあり日本が此運動に加入するや否やは疑問なり

▲政府は反對す 政府は減債局案[illegible]論起り來る

[illegible]ともなす能はざるに依り民間には當[illegible]加勤務は對支勸告の際三國より露の發議にて交渉したるものにして帝國[illegible]度を決定す可し

●酒類輸移入の減少 仁川
[illegible]期節外となれる事とて輸移入頓に減少したるに基因す清酒類は是より甚だ尠し唯僅に英國より七百餘圓の輸入ありたる耳なり市塲賣行は甚だ[illegible]りたるが右は容量に依る可しと道臨

東洋拓殖株式會社よりの伺出あ[illegible]

●色男には誰がなる？

新商業會議所の議員選擧

何方を見ても思召しのあり相な顔

御大典を記念に會議所を設立し御大典を記念に評議員の選擧を遣りたいとは民間一同の希望で創立委員も亦素破しい勢で當局に認可を迫つてゐるから京城會議所の認可も必ず來月十五日の選擧期日迄には間に合ふものと豫想して目下オサ〳〵準備中

▽一級二級の色別
（一級は上院で二級は下院さ いつたやうな自然の色別）

▲創立委員の方では十九日來セッセと被選擧名簿の調製に着手して居る會員の總數は五百八十餘名位で中一級選擧有資格者四十名内外、二級五百四十餘名、其中から三十名の評議員候補者が立たうと云ふのである勿論被選擧人は一級二級を通じて候補者となることが出來るけれども從來の例に由ると一級は上院、二級は下院と云つた樣な自然の色別けをなして居るから二級から一級に切込むといふことは餘程有力者でない限り出來ぬ話であるし又一級から二級を漁ると云ふやうな不體裁なこともしないらしい

▽一級議員の得票
（一人當り二票平均で自己投票の只の一票で出られるもある）

斯ういふ色別になつて居るから愛ひ候補者も各級の地盤に本陣を据えて力戰しなければならぬさうして一級の四十餘名から十五名出るのと二級の五百四十餘名の中から十五名出るのとは非常な差が生ずる譯で先づ一級では一人當り二票平均で上は四票より下は自己投票の只の一票で出られはせぬかと思ふ元來一級議員は誰に投票すると云ふことが大抵定まつて居るし候補者の方でも因縁のない方面には運動しても駄目だと觀念して居るから宣戰を布告する迄には其々内々當りをつけて之れなら大丈夫だと確かな見込がついてから候補者に立つことになつて居る此邊が矢張り貴族の名の出る所であらう

▽二級議員の得票
（平均四十票といふ所だが候補者は皆死者狂ひだらう）

二級議員となると人數も多いし一寸やそつとの運動では利目も何もあつたものではないから候補者も死者狂になつて有權者に泣付かなければならぬ今度は何ほさも特別の塲合でもあり且つ議員の資格が數段上つて來たから十五名の定數に對し候補者が何十人出るか判らぬ何んと云つても面白いのは二級選擧で五百四十餘名の選擧有資格者の中から十五名の議員を出さうといふには縱令何十人の候補者が立つにせよ平均四十票で最高六十票、最低三十票位の所で出られると思ふ

▽候補者と運動費
（是れ迄の倍額で一人當り四五百圓は僅かに要するだらう）

其れから候補者に出さうな人も餘程今年は秘密主義を取つて所謂『滿を持して放たず』と云つた樣な披露式に會議所定款の認可のあつた其日から運動に着手しようとして居る者が多いらしい運動費といつては語弊があるかも知れぬが兎に角選擧費用が是れ迄の倍額で一人當り四五百圓で投票一票が二十圓と見れば大差はあるまい併し其金が何處に往くなんて云ふ事はとし暫時お預りとして置く

▽會議所の使命
（今迄所々の料理を食つた内鮮人が之れから一家族となる）

會議所に是れ迄因縁淺からぬ某有力者を訪ねて選擧の雲行を占ッて貰つたところ某氏は待つてゐたといはん許りの氣配を眉毛の間に動かし『愈多年の懸案であつた京城會議所も認可手續を待つ許り迄漕ぎつけた是れ迄にするには當局は素より僕等も並大抵の骨折ちやなかつた併し先づ之れで一安心と云ひたいが實は膳立が出來たと云ふ位の所で是れからが大變なんだ何しろ今迄は内鮮人別々の家族で別々の料理を喰つて居たものが一家族となつて同一法規の下に立つて行かうとするのであるから料理人の調理にも相當氣骨が折れるよ併し考へて見れば其處に亦賴母しい所があるので朝鮮に於ける内鮮商工業者の協同一致と云ふことの實現されるのもこれからだらう、それが即ち將に生れんとする商業會議所の使命と云つてよい』

▽候補者緊褌一番
（油斷も隙もあつたものか 知らぬ顔の半兵衛さんもゐる）

某氏は話頭一轉『選擧期迄には何ほ三十餘日を剩す今日だから何人が出で、鹿を中原に爭ふかと云ふことは未だ想像の限りでないで知らぬ顔の半兵衛さんを極め込んで居ても内々作戰計畫に苦心して居るんだから油斷も隙もあつたもんぢやない若手も相當色氣があるらしい今度は是れ迄に例のない選擧であるから候補者たらんとする者も餘程褌を緊めてかゝらねば的が外れると思ふ、何に役員選擧!!そりやあ餘りに早過ぎるよ併し僭越人が出るにせよ實際に働きが出來て何ほ慾を云へば實地に其々の商工業に從事して居る人であつて欲しい是れ以上は云はぬが花だよ』

●めでたづくし

御大典を機會に三々九度の盃

呉服屋の番頭さんの惠美壽顔

御大典を當て込んだ記念事業は天津日の光りかゞやき渡る所津々浦々に至るまでそれ〴〵計畫されたがそれがいづれもおめでたいづくめのものばかりだが中でも一番多くあつて飛び切りおめでたいのは此の曠古に

■類ひなき盛儀の

行はるゝ機會に於いて個人として一生の大禮なる婚姻が取り結ばれる事である、京城神社の神前に行はれた者は今月に三四組より無く敢へて多いといふ程でもないが敎會とか大神宮に擔ぎ出さずお手輕主義に

結ばれた縁組は可なり

多く婚姻屆などを府を經由せず直接本籍地の戸籍役塲へ送つて了ふ朝鮮では確かな數字を掴んで事實を擧げる事は困難だが市中の呉服店などに就いて質して見ると今年は昨年に較べて婚禮用の調度は非常に増してゐる、丸一呉服店の番頭さんは此の間の

■消息を喝破して

『私の店などでも今月になつてお慶事のお支度を既に十二三引請けました、さういふものか中流の所が多い樣です』といふ、一體に十月から十一、十二月、二月にかけて結婚の多く行なはれるのは昔からの習はしになつてゐる、就中十一月十二月は最も多いところへ大典の盛儀があつたのだから別に不思議ではないが面白い傾向だ面白いと言へば婚禮に最も忌み

■嫌ふ虎年のあと

を受けて控へてゐた向が一時にバタ〳〵と取懸つたのも一つの原因と見られる、又飜へつて朝鮮人側を見るに彼等の間には古い昔から斯ういふ風な事は一切無かつたので今日でも矢張り此の機會に特に結婚して了うといふ樣な事はないとの事である

●李埈公殿下大藏會に臨まる

經典資料四百數十點陳列

京都佛敎各宗學校聯合會にては大典記念事業として二十一二兩日洛北鞍馬口なる眞宗大谷大學に於て大藏會を開會し支那、朝鮮、印度、西藏、ビルマ、日本其他の諸經典、古寫經典に關する資料四百數十點を陳列し一般縱覽に供すると共に二十一日は内藤博士、大鹿愍成師、羽渡了諦師二十二日は南條博士、薗田宗惠師の講演あり積翠亭に御滯在中なる李埈公殿下には廿一日午前十時御出門會場に成らせられ台覽ありたり（京都電報）

●大麻略本曆頒布

廿三日より市中へ

例年の通り京城神社神官谷村賴尙氏は神宮神部署の囑託を受け二十三日より大麻に大正五年新曆を添へ市中の氏子に頒布すべし

●滑稽放尿裁判

フロツクコート セルの袴で出廷

十一月二十二日午後三時半より京城地方法院刑事法廷にて靜岡縣生れ當時京城旭町二丁目居住土木請負業佐藤熊太郎及び同縣生れ御成町居住塗料製造業平岡鐵太郎の兩名に對する暴行罪及び京城吉野町一丁目居住金貸業山本隆藏の放尿罪に關する公判ありたり石村判事係境檢事立合ひ山内書記著席し山本の辯護人として高橋辯護士出廷被告佐藤は

▲美髯厳めしく フロツクコート平岡は缺席にて山本はお召の羽織にセルの袴といふ扮立ちにて被告席にあり判事は型の如く住所氏名年齡等より事實の審問に移り佐藤に對し十月十七日午後九時半頃本町二丁目横丁小路にて放尿中なる山本を咎めたりや又同町キリンバーにて山本を洋杖にて毆りつけたりやとの問に對し同人は答へて『自分は非常に醉ふてゐたからよく覺えませんが誰か分らぬが道中に立小便するから制止したやうですが其際

▲著物を摑み破られて胸を衝れました毆つたのは覺えません』と答へたので判事より被告は自分の利益の點のみ覺えてゐるのは面白いねと皮肉られ居合せたる高橋辯護士と顔見合はせ被害者山本等は苦笑しゐたり次に山本は最初キリンバーにて一杯引掛けたるに頻りに小便を催したる所キリンバーの便所は常に甚だ不潔の爲め著衣など汚してはと思ひ路上に立出で放尿し居る所に二人の者通行し咎め立てるより最初は平身低頭して謝罪したるも何も連りに兩名は

▲罵倒するより『汝等は警官なりや』と反問した所之より互に惡口雜言をなして自分はキリンバーに駈込みたるに後を追掛け來りたる平岡は突然二回臀部を蹴りついで佐藤は洋杖にて前額部を毆りつけました』云々と述べ檢事より簡單なる論告ありて辯護士よりキリンバーの便所の檢證及び同店主人を證人に申請する所ありしが取消しとなり結局佐藤は暴行罪にて科料九圓平岡は缺席の儘同五圓山本は放尿罪の科料三圓の即決申渡しとなり辯護士より放尿料三圓は聊か高價のやうですは振つたことなりき

●控訴して却て重刑に處さる

久能は一年半

元漢湖農工銀行支配人山口縣玖珂郡岩國町生れ廣島市平塚町に籍を有する久能省三（五六）和歌山縣那賀郡山崎村京城南山町二丁目住同銀行副支配人兼營業課長たりし土岐綽（三四）の兩名に對する背任私文書僞造行使被告事件は既報の通り去る七月三十一日京城地方法院に於て久能は懲役一年土岐は同上一年の判決となりたるを覆審法院に控訴し立合檢事よりも附帶控訴ありたる所十一月二十二日京城覆審法院に於て鈴木裁判長和田靑山の兩判事陪席佐山書記寺田檢事係りにて公判開廷判決の結果久能は前判決を取消し懲役一年六箇月（未決百日を本刑算入）土岐は控訴棄却前判決通りとなりたり

●桃山遊廓で費消

石川縣石川郡山島村生れ京城龍山元町四丁目京藤雜貨店々員金田喜市（二一）は詐欺及び橫領罪等に依り京城地方法院に於て前科二犯の男にて各判決濟の上恩赦令に依り減刑せられたるものなる所本年六月より九月九日迄岡崎町四番地渡邊某方に雇はれ繩叺等の販賣及び集金事務に從事中御成町京城精米所外數軒より取立てたる繩叺等の賣掛代金合計七十六圓を同期間に數回に横領し龍山彌生町紀の國屋山陽樓等にて悉く遊興に消費したる一件は京城地方法院に於て合議公判に附せられ廿四日開廷の筈

■細川侯爵より

御大典參列を終へ歸途丹後丸船上にある細川侯爵は船中我社火災の報に接し直に無線電信にて見舞の電報を寄せられたり

●市外の出火

京城市外高陽郡漢芝面漢芝里七統二戸農李元用居宅より二十一日午後六時發火したるより附近の者及び高陽署より警官出張して消火に努め全燒一戸半燒一戸にて人畜に異狀なく同六時半鎭火したるが發火の原因及び損害額は目下取調中

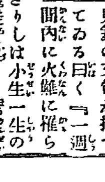
御大典

常座特別提供

第一報、第二報、第三報、第四報

本日より（晝夜二回） 壽座

◎帝國通信の記念園遊會 東京帝國通信社にては創刊廿五周年に相當するより[illegible]十二月五日上野精養軒に於て記念園遊會を開催する由



▲石龍子から本社阿部社長への火災見舞の文句が振つてゐる曰く『一週間内に火難に罹らるゝを發見し得ざりしは小生一生の失策に候』と▲或處で何れは俸給生活の面々四五人集まつてのストーブ會議を開いた際に▲共進會も大成功に終つたし市内の商店も相當に潤つた樣だが一番割の惡いのは吾々月給取だ▲何故と云つたつて共進會には多數の知人が地方なり又は内地から遣つて來て忙しい間を割いて一寸飲みにも行けば自宅でも款待する▲それは世間並のお交際として諦めもするが數ある知人の中には『共進會は以外に成功で思はず金を費はされた爲め小遣錢が心細くなつた』と鎌をかける▲宅に宿めて款待をした其上に歸りがけには一寸した手土産も持たせおまけに旅費の調達迄させられたのだから腹の痛むこと一通りでない▲お蔭で來年の正月は無論のこと二三月頃迄は財政整理で細君に頭が上るまいと云ふ▲集る面々何れも面見合せて苦笑して居た所を見ると御多分に漏れぬと見える

●革の端で描いた佛畫

金剛山楡岾寺古山和尚の風骨

金剛山楡岾寺文古山和尚書

二十一日の朝一人の朝鮮老僧が太平寺に無佛居士を訪問した、此老僧は佛畫の名人として釋王寺の金石翁と共に並び稱せられて居る金剛山楡岾寺の僧文古山和尚であるが、嘗に金剛山を探勝した

▲ゴルドン夫人の 注文せる佛畫が出來上つたので之を持つて出京の序に無佛居士を訪問したのであつた、彼れは畫を書くに革筆と稱する革の切れを以て畫を書くので有名の達磨も其革筆で書いたのを無佛居士に贈つた、和尚曰く拙僧は

釋王寺の金石翁と共に四十年來佛畫を書いて居る

自分は性來書を書くことが好きで、二十歳の時小塚要泉庵の坊主に性靈と云ふ和尚が佛畫の名人であると云ふことを聞いて

▲此和尚に師事して研究をした、當時金石翁は釋王寺の中峰和尚に就いて佛畫の傳授を受けて居つた金剛山に入つたのは甲午の年で五年前までは楡岾寺の居士で居つたが六十一の還暦に愈々僧籍に入つて二人の子供も皆坊主にして今修行中である、自分の畫は誠に詰らないものであるが、自分は畫を筆で書かずに革筆で書く、革筆は古人も稀に使用した樣であるけれども、僅かに字を書いた位で畫を書いたものは無かつたやうに記臆して居る、此達磨も其革筆で書いたのであるさ幅一寸長さ

▲三寸位の牛の皮 の切れを出して見せ之が今申した革筆であると云ふ、無佛居士が秘藏の白隱禪師の達磨と釋宗演禪師の達磨とを出して見せると古山は少時見入たが思い付たやうに膝を打つ『實に名畫だ』否畫と云ふものは浮世を離れたものでなければ駄目だ、隨分一寸見て立派な畫も澤山あるが名利の伴つて居る畫は見當らぬ此の達磨の如きは全く浮世を離れて洒落の内に何とも言へぬ氣品が具つて居ると嘆賞して措かぬ、時しも來合はした水原郡聚會所會頭の金融萬が佛法外漢者であつて

▲華山の龍珠寺等に非常に世話をして居ることを無佛居士から紹介に及ぶと彼はヂツト金翁の顔を見て居たが此處の御若い方には誠に奇特であると讃めて頭いたが要するに御自身の御爲で御寺や坊主の爲では無いから…と呵々大笑する叢林の話柄となつて居る彼幽靈寺の誠拙和尚の話に白木屋が三百金の上金をしたけれど誠拙和尚が振り向きもしないので白木屋の主人が三百金上金の旨を說明に及ぶと誠拙和尚は言下に、それは御寺や山僧の爲めではない貴家の御爲めの上金に禮を述べる必要が何處にあるお金が惜しけりや持つて御歸りなさいと其金をつき返したと云ふ話と酷似した點で古山の人物も伺はれ中々に面白い處がある二三日中には又金剛山に歸山するとのことである。

霜峰山釋王寺 金石翁和尚畫 黒達磨

白色美顔水

▲御婦人方へ▼

▲秘密を一つ お傳致しませう。皆樣はよく、少しも態とらしい所がなく極く自然的にすつきりと美しく氣持の快いお化粧顔の人を御覽になるでせうそして餘程お化粧上手の方が何か

▲一種特別の 秘密な遣方で行らないでは彼あは行かぬとお思になるでせう。所が案外にも彼程の化粧が實に努なく出來る時節と成ました。彼は有名な桃谷研究試驗部で、顧問の丹波

▲山本両博士 の下に技師の三藥學士が完成した白色美顔水でお化粧したのです。さあ直試して御覽なさい。實に努なく實に見事に全で生れつき色が白い人其儘の白さに附ます。一體

▲從來の婦人 のお化粧は白ペンキの樣に白いか何こなく薄黒いか斑かで、凡て態とらしいか又は充分に綺麗に行かないので、婦人の苦痛の種になつてるたのですが、白色美顔水で此

▲心配が滿足 に解決されましたので、婦人方の喜び此上なく、忽ち大變な人氣を引起したのです。此品は一寸見た處は水白粉の形ですが、併しお使になれば直お分りの通り、決して

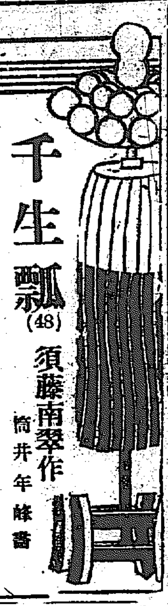
▲普通の水へ 白粉を溶込んだ樣なものでなく、專門學者が新に發見した美容成分で、從來使はれた事の無い、美容上の効力の極く強い原料へ、或特殊の白粉を溶込んで製したもので

▲白粉の生命 こいふべき被覆力が強く、光澤の極美しく、色の清淨純白な、質の極微い原料と新美容成分の不思議な作用で、生れつき色が白い樣につく化粧美のみならず更に生地のこなり素顔の美を增す特色が在ます。

▲皮膚の營養 自然的な本統に美しい化粧の途は此品で始めて開かれました。專任の三藥學士も、是は確に成功だ。と言つて自信を示してゐます

百人が百人ともコンな便利なものはないとお喜びになる

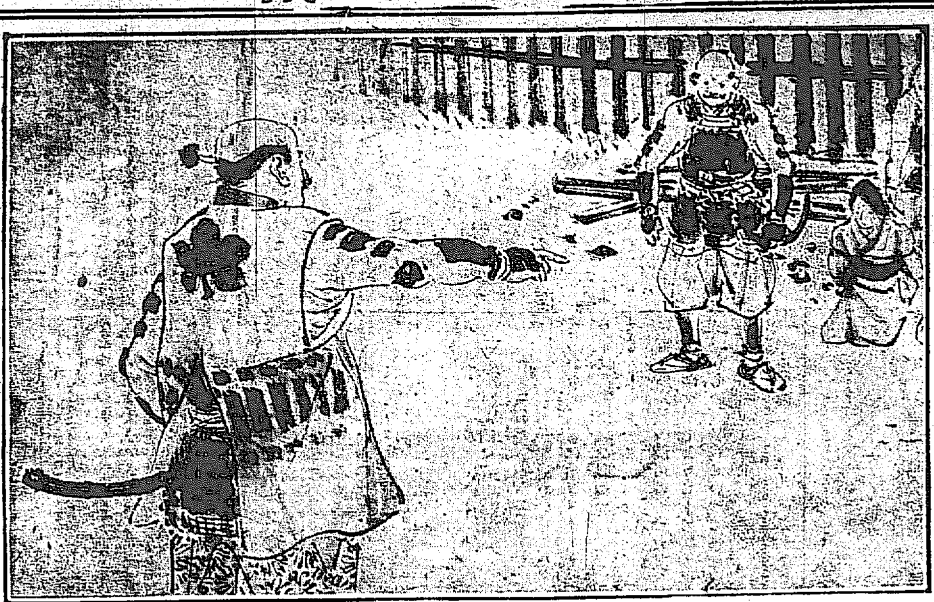
繪葉書



千生瓢 (48)

須藤南翠作　筒井年峰畫

第一戰（二）



佐久間玄蕃允盛政が行市山の本陣へ、第一陣から急使が來た。其時盛政は、新に歸參した山路將監正國を招いて、宇野忠左衛門と三雛になり、中入の合戰を開くに就いて、其方略を議してゐる最中であつた。

『ハツ申し上げまする。第一陣より早馬おざりまする』

番士が執次ぐのを聞いた盛政、太刀を取つてきつと身構へ。

『堀久太、馬を進めたとあるか』

『左樣でおざりませぬ。只今敵の陣中より、老女一人、夫人一人並に侍士一人、各繩をかけて、我が陣近く引き出し、其御陣に山路將監やある一言申すべき事あるに、是れへ出でさせられい、と高々と呼はつておざりまする。如何仕るべうもや』と番士が仔細を語つた。

『ヤツ、後手となつたか』

正國は躍り上つて叫んだ。其面は土のやうになつて、居はわなわなと戰慄いてゐた。

『さては長濱の家族ども、空しく敵の手に落ちさせられたか』

忠左衛門は傍らより尋ねた。

『事發覺致され先に、小舟に取乘せ向ふ路へ落ちるやう、腹心の者に申付けて、長濱へさし遣はしたが、チエツ殘念な事致した』

正國は拳を握つて、無念の眦を裂くのであつた。

『將監、和殿の遺恨嘸かしと察し申す。さりながら、一旦敵の手に落ちては、もはや助命の法はあるまい。但一心を鎮へして、面縛して敵の轅門に降參せば、助命すまじきものでない。何とする將監』

盛政は態と聲を鋭うして、正國の氣を引つ立てやうとした。

『戰場のならひ、是非に及び申さぬ』と、正國は熱涙を籠手に拂つて。

『老母、妻子の人質を繩縛め、敵前に引き出いて、殘忍なる拷問にかけ英傑の士の歸參を迫る事は、和漢古今その例幾らもおざる。其苦痛に腸を斷ち、敵の計略に乘る事あらば、孫妻子が喜ぶべきや。屑ならねども山路將監が母、妻、弟、捕れとなつた刹那に、命は疾や投出いておざりまする。今面前に於て刑せらるゝとも『將監どのつかな一念は捷じ申さぬ。御疑念あるな佐久間殿』と、斷然として言ひ放つた。

悲痛な色、凄愴な色、盛政も思はず同情の涙を催した。忠左衛門は莞爾と笑つて、

『天晴候ふ山路氏、孝心深き貴殿としては、老母を敵の刃に委ねること死に勝る耻辱であらう。さりながら貴殿の老母は、自身の生死にもいや增して、貴殿の節義を思はるゝであらう。貴殿だに節義を守つて變せずば、老母は笑つて瞑目される。孝子の一念太刀に籠つて、敵を粉砕するに於ては、老母妻子の讐も報はれ、山路の家も興るでないか』と、辭を極めて激勵した。

『忠左、能く申した。サア將監に代つて、敵の爲んやうを見屆けて參れ 後日に思ひ知らさうに』と、盛政は申し付ける。

忠左衛門第一陣に立ち現はれ、大音に呼ばるやう、

『山路將監は越前侍士、主に弓彎く逆心の者でないわ。晩かれ早かれ歸るべき身が、歸つたとは何の不思議ぞ。汝等思慮淺くして、此の道理を見誤り、怨を老母妻子に移さば移せ、やがて其身に酬ふべきぞや』

斯くと聞いた敵陣よりも、一人沂々と馬乘り前めて、

『左いふ汝は、山路が家人か。今申す事承はつて、汝が主に申し傳へよ。此處に在る將監が母、妻、舍弟、小舟に乘つて大路に漕ぎ去る所を、それ逃すなと追かけて、湖中に於て首尾よく捷たわ。即ち二股武士の將監が眷族、唯今此處に於て誅戮する其にて篤と檢分致せ』と、呼ばゝつた。

やがて三本の磔木を運んで、三人を十文字に縛り上げ、一人毎に鎗を以て突き殺し、磔のまゝ其處へ建て晒いて、晒し者とするのであつた。

親切で安くて上手な
寫眞 京城寫眞館
水道南大門通分館

讀者の領分

蒲蒙發展は目下の急務であるが何分充分に事情が分らぬから未だ何人も手を付けぬが京城から否朝鮮から蒲蒙視察團を組織して探險視察に出かけては何うだらう（支那浪人）▲共進會中不景氣なと云つて居たが共進會後は何うだらう共進會中の景氣であつた事が今始めて分つたらしい其れだから困る（本町の住人）▲大典も無事終つたので京城も此の鳥渡隙になつたが最一とつ元氣付ける市民の大運動會でもやつては何うです（龍山一寒子）▲何に琵琶會が大分減なくなつた少しは眞面目になつたのかしら（宿六）▲暮が近よると泥的の徘徊も次第に多くなつて來るが留守に戸締りもせずして置て泥棒が這入つたなんて騷ぐ人がある之れは雨方が惡い留守には必ず戸締や錠を嚴重にしなさい（一警官）▲今年は共進會のお蔭で春は少し賑ふ事だらう忘年會なども澤山に違いないと旭町で料理屋の爺さん女將らしい女が立ち話し（トンビ生）▲今や正に好獵季に入る京城の獵友會諸君は何故狩獵大會を開かざるや速に開催すべし（會員の一人）▲漢江の鯉は素人には釣れませぬか方法を敎へて下さい（新來漁師）

泌尿器病 腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病 專門
入院隨意（診察夜九時迄）
永樂町二丁目 金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

優良石鹸 都の花
マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

米國ビクタートラツプ會社製 獸類捕獲器 壹個壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ取器械
仁川濱町 京日仁川代理部

優等清酒 一鶴
京城本町五丁目電話六五四番 本莊酒店

登錄商標 複方疝痛湯
一日分六錢 三日分十八錢 七日分四十錢
せんき、せんしやく腰痛の良藥にして必ずきゝめあり（各地藥店にあり）
本舖大阪西區新町通二田知本和三郎

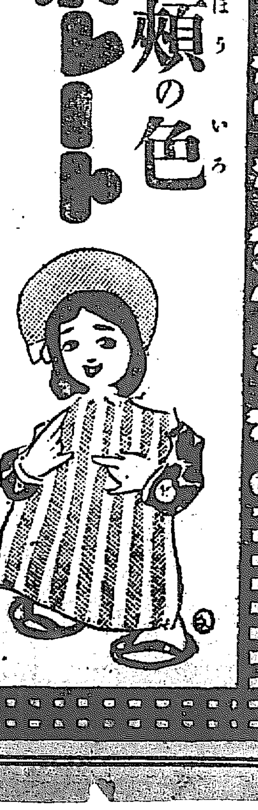
男の子の髪にも　女の子の髪にも

髪を黑く……しなやかにし
不思議に髪の艶を増す
日本名物
クラブ香油は
宮内省御買上
皇后宮職御用
李公家御買上
の光榮ある美髪料

特長　原料と
日本名物クラブ香油は極上の椿油、山茶花油、扁桃油、搬撥油等を主要な原料とし更に髪の營養になる藥劑と貴重な香料とを加へて謹製した天下一品の香油で髪の光澤を増し發育を助け切毛拔毛を防ぎフケを除るに卓効あるのみならず何とも云へぬ床しい薫りは最も貴婦人紳士の御嗜好に適し近來各地共非常な賣行きであります

……髪には……
クラブキニーネで髪を洗へフケを取り頭を爽かにしクラブ香油又はクラブポマードで更に艶をなしやかに黑くしてからお結ひになり又お分けになれば御婦人も紳士も自由に調髪が出來ます

林檎のやうな頰の色
乳白化粧水レート
宮内省御用 皇后宮職御用 各宮家御用品
平素お召しのお方は紳士も淑女も令嬢も何時も幼兒の林檎の頰のやうに肌理細かに艶々しく決して荒を知ぬ



東京・大阪 平尾贊平

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品 [illegible]

仁川米豆取引所 [illegible]

▲本日の現物界 [illegible]

廿二日の一月限 [illegible]

平均値段 [illegible]